平成３１年４月入学

April 2019 Admissions

平成３０年１０月入学

October 2018 Admissions

九 州 工 業 大 学 大 学 院 工 学 府

Graduate School of Engineering, Kyushu Institute of Technology

博 士 前 期 課 程

Master's Programs

学 生 募 集 要 項

Admission Application Guidance

一　　般　　選　　抜

第１回（推薦型・一般型）・第２回

社 会 人 特 別 選 抜

外国人留学生特別選抜

（Special Admissions for International Students）

国立大学法人九州工業大学

大　学　院　工　学　府

〒804－8550　北九州市戸畑区仙水町１番１号
電話　０９３－８８４－３０５７（直通）
E-mail　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp
（http://www.kyutech.ac.jp/）

九州工業大学大学院工学府

＜博士前期課程＞

平成３１年度４月入学・平成３０年度１０月入学試験日程

【一般選抜】

<table>
<tr><th></th><th>事前審査出願期間</th><th>願書出願期間</th><th>選抜日</th><th>合格者発表日</th></tr>
<tr><td>第１回
推薦型</td><td rowspan="2">平成30年5月1日（火）
｜
平成30年5月9日（水）</td><td rowspan="2">平成30年5月21日（月）
｜
平成30年5月25日（金）</td><td>平成30年7月2日（月）</td><td>平成30年7月11日（水）</td></tr>
<tr><td>第１回
一般型</td><td>平成30年7月14日（土）
｜
平成30年7月15日（日）</td><td>平成30年7月26日（木）</td></tr>
<tr><td>第２回</td><td>平成30年10月12日（金）
｜
平成30年10月18日（木）</td><td>平成30年11月1日（木）
｜
平成30年11月7日（水）</td><td>平成30年12月15日（土）
｜
平成30年12月16日（日）</td><td>平成30年12月26日（水）</td></tr>
</table>

※第２回募集を行わない試験分野がありますので，募集要項，本学 HP（http://www.kyutech.ac.jp/）で確認してください。

※願書出願前に事前審査が必要な場合があります。「出願資格」を確認してください。

【社会人特別選抜】

	事前審査出願期間	願書出願期間	選抜日	合格者発表日
第１回	平成30年5月1日（火） ｜ 平成30年5月9日（水）	平成30年5月21日（月） ｜ 平成30年5月25日（金）	平成30年7月14日（土）	平成30年7月26日（木）
第２回	平成30年10月12日（金） ｜ 平成30年10月18日（木）	平成30年11月1日（木） ｜ 平成30年11月7日（水）	平成30年12月15日（土）	平成30年12月26日(水)

※願書出願前に事前審査が必要な場合があります。「出願資格」を確認してください。

【外国人留学生特別選抜】

	事前審査出願期間	願書出願期間	選抜日	合格者発表日
第１回	平成30年5月1日（火） ｜ 平成30年5月9日（水）	平成30年5月21日（月） ｜ 平成30年5月25日（金）	平成30年7月2日（月）	平成30年7月11日（水）
第２回	平成30年10月12日（金） ｜ 平成30年10月18日（木）	平成30年11月1日（木） ｜ 平成30年11月7日（水）	平成30年12月15日（土）	平成30年12月26日（水）

※願書出願前に事前審査が必要な場合があります。「出願資格」を確認してください。

目　　　　　次
(Table of Contents)

【 一 般 選 抜 （第１回（推薦型・一般型）・第２回）】

１．募集人員 ………… 3
２．出願資格 ………… 3
３．出願期間 ………… 5
４．出願手続 ………… 5
５．選抜方法 ………… 6
６．専攻の志望方法 ………… 11
７．試験日時及び場所 ………… 11
８．合格者発表 ………… 12
９．入学手続 ………… 12
10．注意事項 ………… 13
11．個人情報の取扱いについて ………… 13
12．安全保障輸出管理について ………… 13

【 社会人特別選抜 】

１．趣　　旨 ………… 14
２．募集人員 ………… 14
３．出願資格 ………… 15
４．出願期間 ………… 15
５．出願手続 ………… 16
６．選抜方法 ………… 17
７．試験日時及び場所 ………… 17
８．合格者発表 ………… 17
９．入学手続 ………… 17
10．注意事項 ………… 18
11．個人情報の取扱いについて ………… 18
12．安全保障輸出管理について ………… 18
長期履修制度について ………… 19

【 外国人留学生特別選抜（Special Admissions for International Students）】

１．募集人員 ………… 20
Number of Students to be Accepted
２．出願資格 ………… 21
Qualifications to apply
３．出願期間 ………… 24
Application Period
４．出願手続 ………… 24
Application Procedures
５．選抜方法 ………… 27
Selection Procedures
６．試験日時及び場所 ………… 28
Date and Venue of Examination
７．合格者発表 ………… 29
Announcement of the Examination Results

８．入学手続 ………………………………………………………………………… 29
Admission Procedures
９．注意事項 ………………………………………………………………………… 30
Notes
10. 個人情報の取扱いについて …………………………………………………… 30
Handling of Personal Information
11. 安全保障輸出管理について …………………………………………………… 31
Security Export Control

工学府入学者受入方針 ………………………………………………………………… 32
（Admission Policy to Graduate School of Engineering）

大学院工学府の概要 …………………………………………………………………… 41
（Guide to Graduate School of Engineering）

コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内 ……………………… 62
（About payment of the Entrance Examination Fee at convenience stores in Japan）

工学部（戸畑キャンパス）マップ ………………………………………………… 63
（Tobata Campus Map）

平成３１年４月入学・平成３０年１０月入学
九州工業大学大学院工学府博士前期課程
一　般　選　抜
第１回（推薦型・一般型）・第２回

１．募 集 人 員

志望専攻に試験分野がある場合は，いずれか１分野を選択してください。
試験分野については，４１ページ以下の「大学院工学府の概要」をご参照ください。

専　攻　名	試　験　分　野　名	募集人員		
		第１回		第２回
		平成 31 年 4 月入学	平成 30 年 10 月入学	平成 31 年 4 月入学
機械知能工学専攻	分野１（機械工学・宇宙工学） 分野２（知能制御工学）	７８ 名	若干名	若干名
建設社会工学専攻		３９ 名	若干名	若干名
電気電子工学専攻	分野１（電気工学） 分野２（電子工学）	５９ 名	若干名	若干名
物 質 工 学 専 攻	分野１（応用化学） 分野２（マテリアル工学）	５１ 名	若干名	若干名
先端機能システム工学専攻		３４ 名	若干名	若干名

① 第１回募集には「推薦型」と「一般型」があります。「５．選抜方法」を熟読して，出願時にいずれか１つを選択してください。ただし，１０月入学については第１回募集「一般型」でのみ募集します。
② 「２．出願資格（８）（飛び入学）」の募集は，機械知能工学専攻・分野２は第１回募集「一般型」で，その他の専攻・分野は第２回募集で実施します。
③ 第１回募集の結果により，第２回募集を行わない場合があります。
④ 第２回募集の実施については，１０月末日までに本学ホームページ等で通知します。
⑤ 平成３０年４月入学者の状況により，専攻によっては，平成３０年１０月入学者の募集を行わない場合があります。詳細については，工学部大学院係までお問い合わせください。

２．出 願 資 格

（１）大学を卒業した者及び平成３１年３月（ただし，平成３０年１０月入学志願者は，平成３０年９月とする。以下の各号において同じ。）までに卒業見込みの者
（２）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成３１年３月までに学士の学位を授与される見込みの者
（３）外国において学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成３１年３月までに修了見込みの者
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校

教育における１６年の課程を修了した者及び平成３１年３月までに修了見込みの者

（５）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成３１年３月までに修了見込みの者

（６）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成３１年３月までに修了見込みの者

（７）文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号参照）

（８）平成３１年３月末日で大学に３年以上在学し，３年次前期までに履修すべき授業科目を特に優れた成績をもって修得し，別途定める「事前審査」に合格した者（注：いわゆる「飛び入学」）

（９）外国において学校教育における１５年の課程を修了した者，外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校における１５年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で，本学府において，所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者

(10) 学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０２条第２項の規定により大学院に入学した者（飛び入学）であって，当該者をその後に入学させる本学府において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

(11) 本学府において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの及び平成３１年３月までに２２歳に達する者

＜事前審査・入学資格個別審査＞

出願資格（８）～（11）によって出願しようとする場合は，事前審査・入学資格個別審査の申請期間中に所定の書類を提出し，審査を受ける必要があります。

下記①又は②を参照の上，ご不明な点は工学部大学院係までお問い合わせください。

	事前審査・入学資格個別審査申請期間	審査結果の通知
第１回	平成３０年　５月１日（火）～ 平成３０年　５月９日（水）	平成３０年　５月１６日（水）
第２回	平成３０年１０月１２日（金）～ 平成３０年１０月１８日（木）	平成３０年１０月２６日（金）

①　出願資格（８）によって出願しようとする場合は，「事前審査」を受けてください。

事前審査に必要な書類等は，申請期間前に工学部大学院係に請求してください。

事前審査を受ける基礎資格として，次の各要件をすべて満たしていることが必要です。

１）出願時において，大学の３年次に在学中の者。

２）３年次前期末までの成績が，所属学科（これに相当するものを含む。）の現員の上位５％以内であること。ただし，所属学科がそれに準じた優秀な成績と認めた者を若干名加えることができる。

ただし，機械知能工学専攻（知能制御工学）については，３年次前期末までを２年次末まで読み替えてください。

３）在籍する大学の学部長・学科長等の推薦を得た者。

②　出願資格（９）～（11）によって出願しようとする場合は「個別の入学資格審査」を受けてください。

入学資格個別審査申請期間中に所定の「入学資格個別審査申請書」及び提出が可能な論文要旨等を工学部大学院係に提出してください。論文が多数ある場合には，主たる論文数件の要旨を添付してください。（和文・英文所定用紙選択可）

研究業績等が「入学資格個別審査申請書」に書ききれない場合は別紙に記入して添付してください。

３．出 願 期 間

	出　　願　　期　　間
第１回募集	**平成３０年　５月２１日（月）～　５月２５日（金）**
第２回募集	**平成３０年１１月　１日（木）～１１月　７日（水）**

上記期間中に出願書類を**本学所定の封筒**に入れ，願書提出先に**持参又は郵送**してください。

持参する場合は，窓口受付時間は９時から１７時までです。（なお，土曜日，日曜日，祝日は除きます。）

郵送する場合は，**出願期間内必着**で「速達簡易書留郵便」により郵送してください。

＜願書提出先・問い合わせ先＞

〒８０４－８５５０　北九州市戸畑区仙水町１番１号
九州工業大学工学部大学院係
電話　０９３－８８４－３０５７（直通）
E-mail　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

４．出 願 手 続

出願者は，次の書類を一括取り揃え，**本学所定の封筒（角形２号）**に入れて，所定の期日までに**九州工業大学工学部大学院係**へ提出してください。

（1）出願書類等　＜第１回募集「推薦型」「一般型」・第２回募集　共通＞

出　願　書　類	注　　意　　事　　項
入　学　願　書	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入してください。 試験区分欄にはレ印を必ず記入してください。 第２志望欄は，「６．専攻の志望方法」を参照し，第１回募集「一般型」志願者のうち，希望する者のみ記入してください。
推　　薦　　書	第１回募集「推薦型」に志願する者は，本学所定の用紙を用い，出身大学等の学部長，学科長，指導教員のいずれかが作成し，厳封したものを提出してください。（第１回募集「一般型」及び第２回募集の志願者は不要です。）
受　　験　　票	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入してください。
写　　真　　票	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入してください。
入学検定料 (30,000 円)	ゆうちょ銀行の窓口，あるいはコンビニ端末で納付してください。 ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は，本学所定の入学検定料払込用紙により振込みの上，検定料納入証明書（受付局日附印が押されたもの）を必ず受け取り，願書の裏面に貼り付けてください。 コンビニ端末で振り込む場合は，「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上，支払い，取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り，願書の裏面に貼り付けてください。 ただし，出願者のうち，日本政府（文部科学省）国費外国人留学生については，入学検定料は不要です。
卒業(見込)証明書	出身大学等が作成したものを提出してください。（本学工学部卒業見込み者は提出不要です。）

学位取得（見込）証明書等	出願資格（２）により出願する者は，大学評価・学位授与機構が発行したものを提出してください。 学士の学位取得見込みの者は，短期大学長又は高等専門学校長の発行する当該専攻科の修了見込証明書及び大学評価・学位授与機構に学士の学位授与申請予定であることの証明書を提出してください。
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成のうえ厳封したものを提出してください。（本学工学部卒業見込み者は厳封せずに提出してください。）
語学能力試験の成績書	「TOEIC 公開テスト」または「TOEFL-iBT」のスコアシートを提出してください（コピー不可）。 ・スコアシートの有効期間は，入学者選抜試験の受験日より遡って２年以内のものとします。 ・スコアシートは顔写真付きのものとします（顔写真のないものは無効）。 ・TOEIC IP，カレッジ TOEIC 及び TOEFL-ITP 等の団体受験制度のスコアシートは認められません。 ただし，大学等において英語カリキュラム制度の一環として受験していることが分かる書類（履修の手引きのコピー等）を添付して提出する場合は，「TOEFL-ITP（団体特別受験制度)」のスコアシートも有効とします。 ・「TOEIC 公開テスト」及び「TOEFL-iBT」（上記条件を満たす場合は「TOEFL-ITP」を含む）の双方のスコアシートを提出した場合は，各試験分野において換算後の得点の高いスコアを採用します。
写真	出願前３か月以内に上半身，無帽，正面向きで撮影したものを「受験票」及び「写真票」に貼り付けてください。（縦４㎝×横３㎝）
受験票送付用封筒（長形３号）	本学所定の封筒に，住所，氏名及び郵便番号を明記し，３６２円分の切手を貼り付けてください。（左側に「受験票在中」と記入してある封筒）
あて名票	本学所定の用紙に記入してください（合格通知用・入学手続案内用)。
パスポートの写し	外国人の志願者は全員提出してください。
在留カード又は特別永住者証明書若しくは住民票の写し	外国人の志願者のうち，日本国内に居住する者は全員提出してください。

（注）出願手続き後は，入学検定料の払い戻し，提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

（２）第２志望追加書類

第１回募集「一般型」の志願者のうち，生命体工学研究科を第２志望とする場合は，必ず入学願書にその旨を明記してください。また，後日，別途追加書類を生命体工学研究科に提出する必要があります。

詳しくは６．専攻の志望方法をご覧ください。

５．選 抜 方 法

【１】第１回募集

（１）「推薦型」試験と「一般型」試験について

第１回募集には「推薦型」と「一般型」があります。

「推薦型」で出願する場合には，学業及び人物ともに極めて優れているものとして，出身（在籍）大学等の学部長等から推薦され，かつ，合格した場合には必ず入学を確約できることが必要です。

また，「推薦型」を不合格となった者は出願手続きなしで同一専攻・分野の「一般型」を受けることができます。

「一般型」で出願する場合には，生命体工学研究科を第２志望とすることができます。

飛び入学（機械知能工学専攻・分野２のみ）及び１０月入学の志望者は「一般型」でのみ出願することができます。

なお，第２志望の詳細については「６．専攻の志望方法」を参照してください。

（２）第１回募集「推薦型」試験と「一般型」試験の選抜手順

出願期間　：　平成 30 年 5 月 21 日（月）～平成 30 年 5 月 25 日（金）

「推薦型」志願者

**「推薦型」試験日　：
平成 30 年 7 月 2 日（月）**

**「推薦型」合格発表　：
平成 30 年 7 月 11 日（水）**

**「推薦型」不合格者
※追加書類不要**

「一般型」志願者

「一般型」試験日　：　平成 30 年 7 月 14 日（土）・15 日（日）

「一般型」合格発表　：　平成 30 年 7 月 26 日（木）

※「推薦型」の志願者及び第 2 志望を希望しなかった「一般型」の志願者が生命体工学研究科を受験する場合は，新規に出願する必要があります。

**「一般型」不合格者
（第 2 志望有）**

生命体工学研究科第 2 志望者追加書類提出期間　：
平成 30 年 7 月 30 日（月）　～　平成 30 年 8 月 3 日（金）

※生命体第 2 志望者は別冊子「補遺」を参照すること。

生命体工学研究科　第 2 志望者を対象とする試験日　：
平成 30 年 8 月 25 日（土）・26 日（日）
（生命体工学研究科合格発表　：　平成 30 年 9 月 4 日（火））

（3）第１回募集「推薦型」試験

入学者の選抜は，学力検査（筆記・面接試験等），出身大学の成績証明書を総合して行います。

試　験　内　容	
機械知能工学専攻	【分野１（機械工学・宇宙工学)】 ・専門学力（数学および機械工学の口頭試問を含む）及び成績証明書の内容等に関する面接試験
	【分野２（知能制御工学)】 ・専門学力（数学および制御工学の口頭試問を含む）及び成績証明書の内容等に関する面接試験
建設社会工学専攻	・専門及び成績証明書の内容等に関する面接試験
電気電子工学専攻	【分野１（電気工学)】 ・電磁気学，電気回路，電子回路に関する筆記試験 ・専門学力及び成績証明書の内容等に関する面接試験
	【分野２（電子工学)】 ・電磁気学，電気回路，電子回路に関する筆記試験 ・専門学力及び成績証明書の内容等に関する面接試験
物質工学専攻	【分野１（応用化学)】 ・面接試験
	【分野２（マテリアル工学)】 ・面接試験
先端機能システム工学専攻	・専門学力（数学および物理学の口頭試問を含む）及び成績証明書の内容等に関する面接試験

備　考　１．専攻に試験分野がある場合は，いずれか１分野を選択してください。

２．選択した試験分野により，志望分野の研究を行えない場合があります。
研究分野を限定したい志願者は，願書提出前に工学部大学院係へ問い合わせてください。

（4）第１回募集「一般型」試験

入学者の選抜は，学力検査（筆記及び面接試験），出身大学の成績証明書を総合して行います。

<table>
<tr><th colspan="3">試　験　内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="9">専門科目
志望する研究分野に関連した科目の筆記試験</td><td rowspan="2">機械知能工学専攻</td><td>【分野１（機械工学・宇宙工学）】
・数学，材料力学，機械力学，流体力学，熱力・伝熱学，機械工作法</td></tr>
<tr><td>【分野２（知能制御工学）】
・応用数学，制御工学</td></tr>
<tr><td>建設社会工学専攻</td><td>・数学必修
・構造力学，水理学，土質力学，鉄筋コンクリート構造，交通・都市計画，環境計画，建築一般構造，建築環境設備，建築計画，建築意匠・建築史の１０科目から４科目選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気電子工学専攻</td><td>【分野１（電気工学）】
・電磁気学，電気回路，電子回路の３科目必修
・電力工学，制御工学，集積回路，電子デバイスの４科目から３科目選択
・信号処理，通信工学，プログラミング，論理回路の４科目から１科目選択</td></tr>
<tr><td>【分野２（電子工学）】
・電磁気学，電気回路，電子回路の３科目必修
・信号処理，通信工学，プログラミング，論理回路の４科目から３科目選択
・電力工学，制御工学，集積回路，電子デバイスの４科目から１科目選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物質工学専攻</td><td>【分野１（応用化学）】
・有機化学，無機化学（分析化学を含む。），物理化学（移動現象論を含む。）</td></tr>
<tr><td>【分野２（マテリアル工学）】
・構造・性質系科目（材料組織，金属強度，ナノ構造，回折，拡散，状態図，材料物理など）
・プロセス系科目（物理化学，熱力学，反応速度，電気化学，凝固，接合，塑性加工など）
・機能・設計系科目（材料力学，破壊，各種金属・セラミクス，物性，エネルギー変換など）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">先端機能システム工学専攻</td><td>・基礎科目（必修）
数学（線形代数，微積分）から２問，物理（力学，熱学，波）から２問
・専門科目（９問から４問を選択）
電気系科目（電気回路，電磁気学）から３問
機械系科目（材料力学，機械力学）から３問
基礎科学系科目（微分方程式，複素解析学，量子力学，物質科学，情報処理）から３問</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td>外国語</td><td>全専攻</td><td>英語の語学力を TOEIC または TOEFL の成績により評価します（4. 出願手続の「語学能力試験の成績書」参照）。
また，双方のスコアシートを提出した場合は，各試験分野において換算後の得点の高いスコアを採用します。
なお，出願時に提出できない場合は，英語の評価を各専攻の定める最低点として評価します。</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>全専攻</td><td>専門学力及び成績証明書の内容等に関する口述試験</td></tr>
</table>

備　考　１．専攻に試験分野がある場合は，いずれか１分野を選択してください。

２．選択した試験分野により，志望分野の研究を行えない場合があります。
研究分野を限定したい志願者は，願書提出前に工学部大学院係へ問い合わせてください。

【２】第２回募集

入学者の選抜は，学力検査（筆記及び面接試験），出身大学の成績証明書を総合して行います。

<table>
<tr><th colspan="3">試　　験　　内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="8">専門科目
志望する研究分野に関連した科目の筆記試験</td><td rowspan="2">機械知能工学専攻</td><td>【分野１（機械工学・宇宙工学）】
・数学，材料力学，機械力学，流体力学，熱力・伝熱学，機械工作法</td></tr>
<tr><td>【分野２（知能制御工学）】
・応用数学，制御工学</td></tr>
<tr><td>建設社会工学専攻</td><td>・数学必修
・構造力学，水理学，土質力学，鉄筋コンクリート構造，交通・都市計画，環境計画，建築一般構造，建築環境設備，建築計画，建築意匠・建築史の１０科目から４科目選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気電子工学専攻</td><td>【分野１（電気工学）】
・電磁気学，電気回路，電子回路の３科目必修</td></tr>
<tr><td>【分野２（電子工学）】
・電磁気学，電気回路，電子回路の３科目必修</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物質工学専攻</td><td>【分野１（応用化学）】
・有機化学，無機化学（分析化学を含む。），物理化学（移動現象論を含む。）</td></tr>
<tr><td>【分野２（マテリアル工学）】
・構造・性質系科目（材料組織，金属強度，ナノ構造，回折，拡散，状態図，材料物理など）
・プロセス系科目（物理化学，熱力学，反応速度，電気化学，凝固，接合，塑性加工など）
・機能・設計系科目（材料力学，破壊，各種金属・セラミクス，物性，エネルギー変換など）</td></tr>
<tr><td>先端機能システム工学専攻</td><td>・基礎科目（必修）
数学（線形代数，微積分）から２問，物理（力学，熱学，波）から２問
・専門科目（９問から４問を選択）
電気系科目（電気回路，電磁気学）から３問
機械系科目（材料力学，機械力学）から３問
基礎科学系科目（微分方程式，複素解析学，量子力学，物質科学，情報処理）から３問</td></tr>
<tr><td>外国語</td><td>全専攻</td><td>英語の語学力を TOEIC または TOEFL の成績により評価します（4. 出願手続の「語学能力試験の成績書」参照）。
また，双方のスコアシートを提出した場合は，各試験分野において換算後の得点の高いスコアを採用します。
なお，出願時に提出できない場合は，英語の評価を各専攻の定める最低点として評価します。</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>全専攻</td><td>専門学力及び成績証明書の内容等に関する口述試験</td></tr>
</table>

備　考　１．専攻に試験分野がある場合は，いずれか１分野を選択してください。
　　　　２．選択した試験分野により，志望分野の研究を行えない場合があります。
　　　　　研究分野を限定したい志願者は，願書提出前に工学部大学院係へ問い合わせてください。

６．専攻の志望方法

志願者は，４１**ページ**以下の「大学院工学府の概要」を参考にして，志望専攻及び試験分野を選択してください。

第１志望専攻名欄	第２志望専攻名欄
工学府 ・機械知能工学専攻 ・建設社会工学専攻 ・電気電子工学専攻 ・物質工学専攻 ・先端機能システム工学専攻 ※機械知能工学専攻， 電気電子工学専攻， 物質工学専攻志願者は 試験分野名を明記すること。	≪第１回募集≫ 「推薦型」 第１志望と同じ専攻・分野の「一般型」を 第２志望として受験することができます。 ※他の専攻・試験分野や他の大学院を選択 することはできません。 「一般型」 生命体工学研究科 ・生体機能応用工学専攻 ・人間知能システム工学専攻 ※工学府の専攻・試験分野を選択することは できません。 ※第２志望がない場合は空欄で構いません。 ≪第２回募集≫ ※第２志望を選択することはできません。

出願にあたっては，第１回募集「一般型」志願者に限り，生命体工学研究科の生体機能応用工学専攻，人間知能システム工学専攻のいずれか１つの専攻を第２志望とすることができます。

生命体工学研究科を第２志望とする場合は，事前に工学部大学院係へ問い合わせのうえ，**「九州工業大学大学院工学府・情報工学府博士前期課程学生募集要項補遺（以下，補遺）」**を取り寄せ，出願にあたっては補遺を熟読し，指定期間内に追加書類を提出する必要があります。

７．試験日時及び場所

（1）試 験 日

＜第１回募集＞

	期　　　日	試　験　内　容
推 薦 型	**平成３０年　7月　2日（月）**	**学力検査（筆記・面接試験等）**
一 般 型	**平成３０年　7月１４日（土）～ 平成３０年　7月１５日（日）**	**学力検査（筆記及び面接試験）**

（注）第２志望（生命体工学研究科）の選考試験は平成３０年８月２５日（土）・２６日（日）です。

＜第２回募集＞

期　　　日	試　験　内　容
平成３０年１２月１５日（土）～ 平成３０年１２月１６日（日）	**学力検査（筆記及び面接試験）**

（２）場　　所　　九州工業大学工学部（戸畑キャンパス）

（注）集合時間，集合場所等については，受験票送付の際に通知します。

８．合 格 者 発 表

＜第１回募集＞　　推薦型　　平成３０年　７月１１日（水）　１０時

一般型　　平成３０年　７月２６日（木）　１０時

＜第２回募集＞　　平成３０年１２月２６日（水）　１０時

本学のホームページ(http://www.kyutech.ac.jp/)上に合格者の受験番号を掲載するとともに，本人に合格通知書を送付します。

（注）第２志望の合格発表は，生命体工学研究科の合格者として平成３０年９月４日（火）１０時に本学のホームページに掲載されます。

※　合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。

（例）　吉→吉　　廣→廣　　角→角

９．入 学 手 続

入学手続の概要は次のとおりです。その詳細については，合格者に別途通知します。

（１）入学手続期間

平成３０年１０月入学予定者については平成３０年９月下旬を，平成３１年４月入学予定者については平成３１年３月中旬を予定しています。

（２）入学時に要する経費

①　入学料　　　２８２，０００円（予定額）

［注］外国人合格者のうち日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。

②　学生教育研究災害傷害保険　　１，７５０円（予定額）

③　後援会費　　１０，０００円（予定額）

〔参考〕　授業料（入学後）　前期分　２６７，９００円（予定額）

（年額）　５３５，８００円（予定額）

［注］在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。
外国人合格者のうち日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。

１０．注 意 事 項

（１）受験に必要な諸事項は，受験票送付の際に通知します。
試験日の 10 日前になっても受験票が届かない場合は工学部大学院係に問い合わせてください。
なお，変更が生じた場合は，試験当日，工学部大学院係前（総合教育棟１階）に掲示します。
（２）受験の際は，受験票を必ず携帯してください。
また，受験票は入学手続時まで保管してください。
（３）出願手続き後は，入学検定料の払い戻し，提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
（４）障害があり，受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，なるべく早い時期に工学部大学院係に相談してください。

１１．個人情報の取扱いについて

本学が取得した個人情報については，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。
（１）入学者選抜で利用した成績等を，入学後の学習指導等で利用します。
（２）入学者選抜で利用した成績等を，１年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
（３）入学者選抜で利用した成績等の個人情報を，個人が特定できない形で，本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。
※　本学が取得した個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第９条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

１２．安全保障輸出管理について

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，ご注意ください。
【参考】URL：
日本語　http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html
English　http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html

平成３１年４月入学・平成３０年１０月入学
九州工業大学大学院工学府博士前期課程
社会人特別選抜

１．趣　　　旨

本学大学院は，大学院を社会に向けて開放しており，通常の課程学生，外国人留学生のほかに社会人技術者，研究者等を対象として大学院設置基準第１４条に定める教育（教育方法の特例）を実施し，社会人技術者，研究者等が在職のままで，継続研修及び再教育ができる場を提供するとともに，特例教育を介して大学と社会との交流を深め，学問と技術の発展に寄与することを目的としています。

２．募 集 人 員

専攻に試験分野がある場合は，各試験分野より１分野を選択してください。
試験分野（コース）については，４１ページ以下の「大学院工学府の概要」をご参照ください。

【 第 １ 回 】

専　攻　名	試　験　分　野　名	平成 31 年 4 月入学	平成 30 年 10 月入学
機械知能工学	分野１（機械工学コース・宇宙工学コース） 分野２（知能制御工学コース）	若干名	若干名
建設社会工学	――――――	若干名	若干名
電気電子工学	分野１（電気工学コース） 分野２（電子工学コース）	若干名	若干名
物　質　工　学	分野１（応用化学コース） 分野２（マテリアル工学コース）	若干名	若干名
先端機能システム工学	――――――	若干名	若干名

※平成３０年４月入学者の状況により，専攻によっては，平成３０年１０月入学者の募集を行わない場合があります。詳細については，工学部大学院係までお問い合わせください。

【 第 ２ 回 】

専　攻　名	試　験　分　野　名	平成 31 年 4 月入学
機械知能工学	分野１（機械工学コース・宇宙工学コース） 分野２（知能制御工学コース）	若干名
建設社会工学	――――――	若干名
電気電子工学	分野１（電気工学コース） 分野２（電子工学コース）	若干名
物　質　工　学	分野１（応用化学コース） 分野２（マテリアル工学コース）	若干名
先端機能システム工学	――――――	若干名

３．出 願 資 格

各種研究機関，教育機関又は企業等に平成３１年４月１日（ただし，平成３０年１０月入学志願者は，平成３０年１０月１日とする。）現在で１年以上勤務経験を有することとなる研究者又は技術者で，入学後も引き続きその身分を有し，勤務成績が優秀であり，次の各号のいずれかに該当する者

（１）大学を卒業した者
（２）学校教育法（昭和２２年法律第２６号）第１０４条第４項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
（３）外国において学校教育における１６年の課程を修了した者
（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者
（５）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
（６）専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
（７）文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号参照）
（８）外国において学校教育における１５年の課程を修了し，本学府において，所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者
（９）本学府において，個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達した者及び平成３１年３月（ただし，平成３０年１０月入学志願者は，平成３０年９月とする。）までに２２歳に達する者

＜事前審査・入学資格個別審査＞

出願資格（８）及び（９）によって出願しようとする場合は，「個別の入学資格審査」を行いますので，申請期間中に所定の「入学資格個別審査申請書」及び論文要旨等を提出し，審査を受ける必要があります。（和文・英文所定用紙選択可）

ご不明な点は工学部大学院係までお問い合わせください。

	事前審査・入学資格個別審査申請期間	審査結果の通知
第１回	平成３０年　５月　１日（火）～ 平成３０年　５月　９日（水）	平成３０年　５月１６日（水）
第２回	平成３０年１０月１２日（金）～ 平成３０年１０月１８日（木）	平成３０年１０月２６日（金）

４．出 願 期 間

	出　願　期　間
第１回募集	**平成３０年　５月２１日（月）～　５月２５日（金）**
第２回募集	**平成３０年１１月　１日（木）～１１月　７日（水）**

上記期間中に出願書類を**本学所定の封筒**に入れ，願書提出先に**持参又は郵送**してください。

持参する場合は，窓口受付時間は９時から１７時までです。（なお，土曜日，日曜日，祝日は除きます。）

郵送する場合は，**出願期間内必着**で「速達簡易書留郵便」により郵送してください。

＜願書提出先・問い合わせ先＞

〒８０４－８５５０　北九州市戸畑区仙水町１番１号
九州工業大学工学部大学院係
電話　０９３－８８４－３０５７（直通）
E-mail　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

５．出 願 手 続

出願者は，次の書類を一括取り揃え，**本学所定の封筒（角形２号）**に入れて，所定の期日までに**九州工業大学工学部大学院係**へ提出してください。

出　願　書　類	注　　意　　事　　項
入学願書 受験票 写真票	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入してください。 また，長期履修制度の利用を希望する場合は，入学願書の所定欄へレ印を入れてください。
入学検定料 (30,000 円)	ゆうちょ銀行の窓口，あるいはコンビニ端末で納付してください。 ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は，本学所定の入学検定料払込用紙により振込みの上，検定料納入証明書（受付局日附印が押されたもの）を必ず受け取り，願書の裏面に貼り付けてください。 コンビニ端末で振り込む場合は，「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上，支払い，取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り，願書の裏面に貼り付けてください。
卒業証明書	出身大学等が作成したものを提出してください。
学位取得証明書	出願資格（２）により出願する者は，大学評価・学位授与機構が発行したものを提出してください。
成績証明書	出身大学等の学長又は学部長が作成のうえ厳封したものを提出してください。
写　真	出願前３か月以内に上半身，無帽，正面向きで撮影したものを受験票及び写真票に貼り付けてください。（縦４㎝×横３㎝）
受験承諾書	本学所定の用紙を用いて，現在の勤務先の所属長が作成したものを提出してください。
志望理由書	本学工学府に入学し，勉学，研究を行いたいと考えた動機及び目的について記入したものを提出してください。（A4／任意様式）
研究（希望）計画書	博士前期課程における研究（希望）計画を記入したものを提出してください。（A4／任意様式／1000 字程度）
研究業績リスト ・業務報告書	本学所定の用紙を用いて，学術論文，研究発表・報告，特許・資格等を記入し，可能な場合は別刷（コピー可）等を添付してください。（和文・英文所定用紙選択可） 卒業論文等を有する者は研究業績欄に記入してください。
受験票送付用封筒 （長形３号）	本学所定の封筒に，住所，氏名及び郵便番号を明記し，３６２円分の切手を貼り付けてください。（左側に「受験票在中」と記入してある封筒）
あて名票	本学所定の用紙に記入してください（合格通知用・入学手続案内用）。
パスポートの写し	外国人の志願者は全員提出してください。

在留カード又は 特別永住者証明書 若しくは 住民票の写し	外国人の志願者のうち，日本国内に居住する者は全員提出してください。

※出願手続き後は，入学検定料の払い戻し，提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

６．選 抜 方 法

社会人の選抜は，次の方法により行います。

（１）入学者の選抜は，書類審査及び面接試験の結果を総合して行います。

（２）面接試験は，受験承諾書，志望理由書，研究（希望）計画書，研究業績リスト・業務報告書について試問を行い，専門科目（志望する教育研究分野に関連した科目），外国語（英語。ただし，外国の大学を卒業した外国人の志願者については英語及び日本語について行う。），研究業績，研究計画等に関して口述試験を行います。

７．試験日時及び場所

（１）試験日時

	期　　　日	試　験　内　容
第　１　回	**平成３０年　７月１４日（土）**	**面接試験**
第　２　回	**平成３０年１２月１５日（土）**	

（２）場　　所　　九州工業大学工学部（戸畑キャンパス）

（注）集合時間，集合場所等については，受験票送付の際に通知します。

８．合 格 者 発 表

第１回　　平成３０年　７月２６日（木）　１０時

第２回　　平成３０年１２月２６日（水）　１０時

本学のホームページ(http://www.kyutech.ac.jp/)上に合格者の受験番号を掲載するとともに，本人に合格通知書を送付します。

※　合格通知書等の人名漢字の表記について

氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。

（例）　吉→吉　　廣→廣　　角→角

９．入 学 手 続

入学手続の概要は次のとおりです。その詳細については，合格者に別途通知します。

（１）入学手続期間

平成３０年１０月入学予定者については平成３０年９月下旬を，平成３１年４月入学予定者については平成３１年３月中旬を予定しています。

（２）入学時に要する経費

①	入学料		２８２，０００円（予定額）
②	学生教育研究災害傷害保険		１，７５０円（予定額）
③	後援会費		１０，０００円（予定額）
〔参考〕	授業料（入学後）	前期分	２６７，９００円（予定額）
		（年額）	５３５，８００円（予定額）

［注］在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

（３）長期履修制度について

長期履修制度による修学を希望する場合は，該当者へ所定の申請書類を送付しますので，入学手続時に提出が必要となります。

担当：工学部大学院係（電話：０９３－８８４－３０５７）

１０．注 意 事 項

（１）受験に必要な諸事項は，受験票送付の際に通知します。
試験日の 10 日前になっても受験票が届かない場合は工学部大学院係に問い合わせてください。
なお，変更が生じた場合は，試験当日，工学部大学院係前（総合教育棟１階）に掲示します。
（２）受験の際は，受験票を必ず携帯してください。
また，受験票は入学手続時まで保管してください。
（３）出願手続き後は，入学検定料の払い戻し，提出書類の返却及び記載事項の変更は認めません。
（４）障害があり，受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，なるべく早い時期に工学部大学院係に相談してください。

１１．個人情報の取扱いについて

本学が取得した個人情報については，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。
（１）入学者選抜で利用した成績等を，入学後の学習指導等で利用します。
（２）入学者選抜で利用した成績等を，１年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
（３）入学者選抜で利用した成績等の個人情報を，個人が特定できない形で，本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

※　本学が取得した個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第９条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

１２．安全保障輸出管理について

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。
規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，ご注意ください。
【参考】URL：
日本語　http://www.kyutech.ac.jp/exchange/anpo.html
English　http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html

長期履修制度について

１．制度趣旨

学生が職業を有していることにより、学修時間の制約を受け、標準修業年限で履修が困難な場合、申請に基づき４年を限度として、計画的な履修を認めることができます。

計画的な履修を申請し、履修許可を受けた場合、許可された年限内であれば標準修業年数（２年）分の授業料で修了することが可能です。

２．授業料の取り扱い

長期履修が許可された場合の授業料については原則として「定められた授業料の年額　×標準修業年限（２年）÷　長期履修を許可された年限」により算出された金額を、各年毎に支払うことになります。在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算され、改定時から新授業料が適用されます。

なお、長期履修許可期間終了後も引き続き２年間在籍は可能ですが、その場合は一般の学生と同額の授業料が徴収されます。

【参考：授業料徴収方法】

(1)　標準修業年限（２年）

	1 年目	2 年目	―	―	修了までに要する総額
年額	535,800	535,800	―	―	1,071,600

(2)　入学時に長期履修（４年）を申請

	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	修了までに要する総額
年額	267,900	267,900	267,900	267,900	1,071,600

(3)　入学時に長期履修（４年）を申請していた者が、１年次終了時に２年短縮した場合

	1 年目	2 年目	―	―	修了までに要する総額
年額	267,900	535,800	―	―	1,071,600
差額	267,900	←変更許可時に徴収。			

(注)上記の金額は平成２９年度額につき、在学中を含め、今後変更される場合があります。

３．履修期間について

長期履修期間は最大４年を限度として、下記のとおり「年」単位で取り扱います。

(1) 入学当初からの申請　　：標準修業年限２年のところ、３年または４年での申請可

(2) １年次終了時からの申請：長期履修前の期間を含め４年まで申請可

４．長期履修期間の変更等について

相応の理由があると認められる場合、長期履修期間の変更（延長・短縮）ができ、下記のとおり取り扱われます。ただし、履修計画最終年次での申請・変更は出来ません。

短縮：　各年次終了１ヶ月前（最終年次は除く）までに申請し、許可を受け、差額の授業料を納めた上で、翌年次から短縮することが可能です。ただし、標準修業年限未満での短縮修了は認められません。

延長：　各年次終了１ヶ月前（最終年次は除く）までに申請し、許可を受けることで、長期履修前の期間を含め最大４年までの延長が可能です。授業料は標準修業年数（２年）分の授業料となるよう、再計算されます。

５．申請手続き

修業までの見通し等含め、履修計画等指導教員と相談の上「長期履修申請書」、「在職証明書」を工学部大学院係へ提出してください。

「長期履修申請書」等の様式については、合格後に配付します。

不明な点は、工学部大学院係（電話：０９３－８８４－３０５７）までお問い合わせ下さい。

平成３１年４月入学・平成３０年１０月入学

April 2019 Admissions・October 2018 Admissions

九州工業大学大学院工学府博士前期課程

Graduate School of Engineering, Kyushu Institute of Technology
Master's Programs

外国人留学生特別選抜

Special Admissions for International Students

１．募 集 人 員　　Number of Students to be Accepted

試験分野については，４１ページ以下の「大学院工学府の概要」をご参照ください。
Refer to page 41 of the "Guide to Graduate School of Engineering" for details on the above subject area of examination.

【 第 １ 回 】　The 1st selection

専 攻 名 Department	試 験 分 野 名 Subject Area of Examination	平成 31 年 4 月入学 April 2019 admissions	平成 30 年 10 月入学 October 2018 admissions
機械知能工学 Mechanical and Control Engineering	分野１（機械工学コース・宇宙工学コース） Area 1（Mechanical Engineering Course/ Space Engineering Course） 分野２（知能制御工学コース） Area 2（Control Engineering Course）	若干名 A Few	若干名 A Few
建設社会工学 Civil and Architectural Engineering	――――――	若干名 A Few	若干名 A Few
電気電子工学 Electrical and Electronic Engineering	分野１（電気工学コース） Area 1（Electrical Engineering Course） 分野２（電子工学コース） Area 2（Electronic Engineering Course）	若干名 A Few	若干名 A Few
物 質 工 学 Materials Science	分野１（応用化学コース） Area 1（Applied Chemistry Course） 分野２（マテリアル工学コース） Area 2（Materials Science and Engineering Course）	若干名 A Few	若干名 A Few
先端機能システム工学 Applied Science for Integrated System Engineering	――――――	若干名 A Few	若干名 A Few

※平成３０年４月入学者の状況により，専攻によっては，平成３０年１０月入学者の募集を行わない場合があります。詳細については，工学部大学院係までお問い合わせください。

* Depending on the situation of the April 2018 enrollment, some subject areas, there is a possibility that we do not give entrance examination for October 2018 admission. For more information, please contact us.

【 第 2 回 】 The 2nd selection

専 攻 名 Department	試 験 分 野 名 Subject Area of Examination	平成 31 年 4 月入学 April 2019 admissions
機械知能工学 Mechanical and Control Engineering	分野１ （機械工学コース・宇宙工学コース） Area 1 （Mechanical Engineering Course/ Space Engineering Course） 分野２ （知能制御工学コース） Area 2 （Control Engineering Course）	若干名 A Few
建設社会工学 Civil and Architectural Engineering	―――――	若干名 A Few
電気電子工学 Electrical and Electronic Engineering	分野１ （電気工学コース） Area 1 （Electrical Engineering Course） 分野２ （電子工学コース） Area 2 （Electronic Engineering Course）	若干名 A Few
物 質 工 学 Materials Science	分野１ （応用化学コース） Area 1 （Applied Chemistry Course） 分野２ （マテリアル工学コース） Area 2 （Materials Science and Engineering Course）	若干名 A Few
先端機能システム工学 Applied Science for Integrated System Engineering	―――――	若干名 A Few

２．出 願 資 格　　Qualifications to apply

日本の国籍を有しない者で，次の（１）から（６）までの各号のいずれかに該当し，（７）の条件を満たす者

Non-Japanese citizens who meet one of the qualifications (1)-(6) in addition to requirement (7) are eligible.

（１） 外国において学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成３１年３月（ただし，平成３０年１０月入学志願者は，平成３０年９月とする。以下の各号において同じ。）までに修了見込みの者

Applicants who have successfully completed sixteen years of education in a foreign country or are expected to graduate by March 2019 (Applicants applying for October 2018 admissions must graduate by September 2018. The following articles are on the same condition.)

（２）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者及び平成３１年３月までに修了見込みの者

Applicants who have successfully completed sixteen years of education by taking a correspondence course in Japan offered by a foreign educational institution or are expected to complete said course by March 2019.

（3）我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

Applicants who have successfully completed an educational institution program in Japan those is within the framework of the education system of a foreign country and deemed to be of equal level to a university course, and are recognized as having successfully completed 16 years of education within the framework of the education system of a foreign country. (This applies only to institutions and programs specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology.)

（4）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成３１年３月までに授与される見込みの者

Applicants who hold Bachelor's Degree or its equivalent degree, including applicants who will receive the degree by the end of March 2019, by completing more than three-year long program (including distance learning for applicants living in Japan) offered by foreign universities, other foreign schools which have been evaluated by their official authorities at their home countries, or foreign schools which the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology – JAPAN (MEXT) designates.

（5）外国において学校教育における１５年の課程を修了し，本学府において，所定の単位を優秀な成績で修得したものと認めた者

Applicants who have successfully completed fifteen years of education at an educational institution in a foreign country, and are recognized to have received all the necessary credits with an excellent record by the Kyushu Institute of Technology (hereafter: "this Institute").

（6）本学府において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，２２歳に達したもの及び平成３１年３月までに２２歳に達する者

Applicants who have been recognized by this Institute, based on individual screening of admission requirements, as having academic ability equal to or surpassing students who have graduated from a university, and is at least 22 years old or will be 22 years old by March 2019.

（7）出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は大学院入学時に在留資格を「留学」に変更することを確約する者

Applicants who have a certificate of eligibility as a student visa (a *ryugaku* visa) which is specified by the Immigration Control Act or Refugee Approval Act, or will make a firm commitment to change to a student visa upon admission to this Graduate School.

（注） 1　日本の国籍を有しない者で，日本の大学を卒業した者（平成３１年３月卒業見込みの者を含む。）は，特別選抜の対象とはしません。

Note 1.　Non-Japanese citizens who have graduated or are expected to graduate in March 2019, from a Japanese higher educational institution are not eligible.

2　出願資格（４）によって出願する者は，卒業（見込）証明書及び学位取得（見込）証明書のほか、総合的な状況について、九州工業大学が指定するいずれかの機関による評価を受けた大学等を修了したこと又は修了見込みであることを証明しなければならない。

詳細については、出願資格審査申請期間より前に、下記まで問い合わせること。

Note 2.　Applicant under the qualification (4) is required to submit a certificate of graduation (or a certificate of expected graduation) and a certificate of degree (or a certificate of expected degree) issued by universities which has been evaluated by official authorities designated by Kyushu Institute of Technology.

For any questions or inquiries, contact us as follows before the examination period.

問い合わせ先（Direct inquiries to）:
九州工業大学工学部大学院係
Graduate School of Engineering Administrative Office, Kyushu Institute of Technology
E-mail:　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

3　出願資格（５）又は（６）によって出願しようとする場合は，「個別の入学資格審査」を行いますので，申請期間に「入学資格個別審査申請書」を提出してください。（和文・英文所定用紙選択可）

Note 3.　Applicants who meet requirement (5) or (6) are subject to an individual screening and must submit an Application Form for Individual Screening.　(For the format style you may select English or Japanese.)

4　入学資格審査日程

Note 4.　Schedule for Screening of Qualifications

	入学資格個別審査申請期間 Application Period for Screening	審査結果の通知 Notification of Screening Results
第１回 The 1st selection	平成３０年　５月　１日（火）～ 平成３０年　５月　９日（水） May 1 (Tuesday) – May 9 (Wednesday), 2018	平成３０年　５月１６日（水） May 16 (Wednesday), 2018
第２回 The 2nd selection	平成３０年１０月１２日（金）～ 平成３０年１０月１８日（木） October 12 (Friday) – October 18 (Thursday), 2018	平成３０年１０月２６日（金） October 26 (Friday), 2018

３．出 願 期 間　　Application Period

第１回　　平成３０年　５月２１日（月）　～　　５月２５日（金）１７時まで
The 1st selection　:　5 PM, May 21 (Monday) – May 25 (Friday), 2018
第２回　　平成３０年１１月　１日（木）　～　１１月　７日（水）１７時まで
The 2nd selection　:5 PM, November 1 (Thursday) – November 7 (Wednesday), 2018

上記期間中に出願書類を**本学所定の封筒**に入れ，願書提出先に**持参又は郵送**してください。
持参する場合は，窓口受付時間は９時から１７時までです。（なお，土曜日，日曜日，祝日は除きます。）
郵送する場合は，**上記出願期間内必着**で「速達簡易書留郵便」により郵送してください。
Please put application documents into the envelope specified by this Institute and bring or mail your application.
The office is open from 9AM through 5PM on weekdays only, not including national holidays or weekends.
Applicants who wish to send the application by mail should use an envelope specified by this Institute and send it by registered and express mail.
The application must arrive by the date specified.

＜願書提出先・問い合わせ先＞
〒８０４－８５５０　北九州市戸畑区仙水町１番１号
九州工業大学工学部大学院係
電話　０９３－８８４－３０５７（直通）
E-mail　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp

Direct inquiries to :
Graduate School of Engineering Administrative Office, Kyushu Institute of Technology
Phone +81-93-884-3057
E-mail　koh-daigakuin@jimu.kyutech.ac.jp
1-1 Sensui-cho, Tobata, Kitakyushu 804-8550, JAPAN

４．出 願 手 続　　Application Procedures

出願者は，次の書類を一括取り揃え，所定の期日までに**九州工業大学工学部大学院係**へ提出してください。

Applicants should submit all of the following documents together to the Administrative Office by the specified date.

出 願 書 類 Document Needed	注 意 事 項 Notes
入 学 願 書 Application Form 受 験 票 Examination Card 写 真 票 Photograph Sheet	本学所定の用紙を用いて，太線内の必要事項を記入してください。 Fill in all of the specified fields on the application form.

入 学 検 定 料 Entrance Examination Fee (30,000 円) (30,000 yen)	ゆうちょ銀行の窓口，あるいはコンビニ端末で納付してください。 ゆうちょ銀行の窓口で振り込む場合は，本学所定の入学検定料払込用紙により振込みの上，検定料納入証明書（受付局日附印が押されたもの）を必ず受け取り，願書の裏面に貼り付けてください。 コンビニ端末で振り込む場合は，「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内」を参照の上，支払い，取扱明細書または取扱明細書兼領収書の「収納証明書」部分を切り取り，願書の裏面に貼り付けてください。 ただし，出願者のうち，日本政府（文部科学省）国費外国人留学生については，入学検定料は不要です。 Fee should be paid at Japan Post Bank (Yucho Bank) counter or via a payment machine in a convenience store (in Japan) to Japan Post Bank. If you pay the fee at Japan Post Bank counter, please use the form specified by this Institute. After that, attach a proof of payment with date stamp in the space designated on the back of the application form. If you transfer money from a payment machine in a convenience store (in Japan), please refer to「How to pay entrance examination fee from convenience store」and follow the instruction. Cut off the part of proof of receipt and attach it in the backside of the application form. Note that Japanese Government (MEXT) Scholarship Students are not required to pay the entrance examination fee.
卒業（見込）証明書 Certificate of (Expected) Graduation	出身大学等が作成したものを提出してください。 （英語又は日本語に訳したものを添付してください。） A certificate issued by the institution the applicant attended and an English or Japanese translation of said certificate.
成 績 証 明 書 Transcripts	出身大学等の学長又は学部長が作成のうえ提出してください。（英語又は日本語に訳したものを添付してください。） Submit transcripts with the seal or signature of the head of the institution or department. Include an English or Japanese translation of said transcripts.
写　　　真 Photographs	出願前３か月以内に上半身，無帽，正面向きで撮影したものを受験票及び写真票に貼り付けてください。（縦４㎝×横３㎝） Photographs of the applicant’s face without a cap, hat, or scarf (Longitudinal 4 cm x Width 3 cm) taken no earlier than 3 months prior to application. Paste them on the examination card and photograph sheet.
受験票送付用封筒 Return Envelope	本学所定の封筒に，住所，氏名及び郵便番号を明記し，３６２円分の切手を貼り付けてください。（海外から応募される場合は日本在住の代理の方の住所が好ましい。） Envelope specified by this Institute with the applicant’s name, address, zip code and a ¥362 stamp on it. (If you apply from overseas, the address should be the Japanese address of your proxy.)

あ　て　名　票 Address Card	本学所定の用紙に記入してください。 Fill in the form specified by the Institute.
語学能力試験の成績書 TOEIC or　TOEFL Score Certificate	機械知能工学専攻・分野２（知能制御工学コース），電気電子工学専攻及び先端機能システム工学専攻の志願者は，「TOEIC 公開テスト」または「TOEFL-iBT」のスコアシートを提出してください（コピー不可）。 ・スコアシートの有効期間は，入学者選抜試験の受験日より遡って２年以内のものとします。 ・スコアシートは顔写真付きのものとします（顔写真のないものは無効）。 ・TOEIC IP，カレッジ TOEIC 及び TOEFL-ITP 等の団体受験制度のスコアシートは認められません。 ただし，大学等において英語カリキュラム制度の一環として受験していることが分かる書類（履修の手引きのコピー等）を添付して提出する場合は，「TOEFL-ITP（団体特別受験制度）」のスコアシートも有効とします。 ・「TOEIC 公開テスト」及び「TOEFL-iBT」（上記条件を満たす場合は「TOEFL-ITP」を含む）の双方のスコアシートを提出した場合は，各試験分野において換算後の得点の高いスコアを採用します。 Applicants to Area 2 (Control Engineering Course) of “Mechanical and Control Engineering”, “Electrical and Electronic Engineering” and “Applied Science for Integrated System Engineering” are required to submit a “TOEIC” score certificate or a “TOEFL-iBT” score certificate. (A photocopy is not acceptable.) ・ A score certificate should be no more than two years old, counting back from the date of the test. ・ A score certificate should have a photograph of the candidate’s face. (Without the photograph the certificate is invalid.) ・ A score certificate of “TOEIC IP” and other English examination systems, such as “COLLEGE TOEIC” and “TOEFL-ITP”, are not acceptable. However, in case you submit a score certificate of one of those with a proof which shows you take that English exam as a part of curriculum in your university (such as a photocopy of registration direction), it will be valid. ・If you submit both of a "TOEIC" score certificate and a "TOEFL-iBT" score certificate (if you meet the above condition, “TOEFL-ITP” will be included), it will be converted by each examination field and higher score will be adopted.
パスポートの写し Copy of the passport photo page	外国人の志願者は全員提出してください。 Attach a copy of the passport photo page.
在留カード又は 特別永住者証明書 若しくは住民票の写し A copy of the resident card or special permanent resident certificate or residence card	外国人の志願者のうち，日本国内に居住する者は全員提出してください。 Applicants who reside in Japan need to submit this.

注１　海外在住の方で，語学能力試験の成績書（「TOEIC 公開テスト」または「TOEFL-iBT」のスコアシート）を提出できない場合は，出願する前に希望指導教員に相談してください。
注２　海外在住の方については入学検定料のクレジットカードでの振り込みが可能です。その場合は下記 URL を熟読のうえ手続きを行ってください。（日本在住の外国人留学生は不可。）
ただし，いかなる場合であっても振り込んだ入学検定料は返金できませんので，注意してください。
http://e-apply.jp/e/kyutech/

Note:
(1) For those who live abroad and cannot submit evidence of English proficiency (such as certified TOEIC or TOEFL-iBT scores), please consult with your Kyutech-side supervisor before applying for admission.
(2) If you live overseas and apply as an international student, you are able to pay entrance examination fee by a credit card. Please refer to the following URL and read it carefully, and then follow the instructions. (If you live in Japan you are not able to do this.)
Note that once the application is processed, the entrance examination fee is non-refundable under any circumstances.
http://e-apply.jp/e/kyutech/

５．選 抜 方 法　　Selection Procedures

入学者の選抜は，書類審査及び面接試験（口頭試問を含む）の結果を総合して行います。

Successful applicants are selected on the basis of evaluation of submitted documents and the results of written and interview (including oral) examinations.

【面接試験】　Interview Examinations

試　験　科　目 Subject	
機械知能工学専攻 Department of Mechanical and Control Engineering	【分野１（機械工学コース・宇宙工学コース）】 ・面接試験（数学，機械工学および英語の口頭試問を含む） 【Area 1（Mechanical Engineering Course/Space Engineering Course）】 ・Interview （Including an oral test for Mathematics, Mechanical Engineering, and English） 【分野２（知能制御工学コース）】 ・面接試験（数学および制御工学の口頭試問を含む） 【Area 2（Control Engineering Course）】 ・Interview （Including an oral test for Mathematics and Control Engineering）
建設社会工学専攻 Department of Civil and Architectural Engineering	・面接試験 ・Interview

電気電子工学専攻 Department of Electrical and Electronic Engineering	【分野１（電気工学コース）】 ・電磁気学，電気回路，電子回路に関する筆記試験 ・面接試験 【Area 1（Electrical Engineering Course）】 ・Written examination of Electromagnetics, Electric Circuits, and Electronic Circuits ・Interview 【分野２（電子工学コース）】 ・電磁気学，電気回路，電子回路に関する筆記試験 ・面接試験 【Area 2（Electronic Engineering Course）】 ・Written examination of Electromagnetics, Electric Circuits, and Electronic Circuits ・Interview
物質工学専攻 Department of Materials Science	【分野１（応用化学コース）】 ・面接試験 【Area 1（Applied Chemistry Course）】 ・Interview 【分野２（マテリアル工学コース）】 ・面接試験 【Area 2（Materials Science and Engineering Course）】 ・Interview
先端機能システム工学専攻 Department of Applied Science for Integrated System Engineering	・面接試験（数学および物理学の口頭試問を含む） ・Interview（Including an oral test for Mathematics and Physics）

６．試験日時及び場所　Date and Venue of Examination

（１）試験日時　Date of Examination

	期　日 ／ Date	試 験 科 目 ／ Subject
第 １ 回 **The 1st selection**	**平成３０年　７月　２日（月）** **July 2 (Monday), 2018**	学 力 検 査 （試験内容は専攻・試験分野により異なる） ※　詳細は５．選抜方法を参照のこと Achievement Test （Subjects vary according to major） Refer to “5. Interview Examinations” for details
第 ２ 回 **The 2nd selection**	**平成３０年１２月１５日（土）** **December １５（Saturday), 2018**	

（２）場　所　Venue of Examination

九州工業大学工学部（戸畑キャンパス）

Tobata Campus of Kyushu Institute of Technology

※　集合時間等については，受験票送付の際に通知します。

Note: The exact schedule will be notified by mail.

７．合格者発表　Announcement of the Examination Results

第１回　平成３０年　７月１１日（水）　１０時
第２回　平成３０年１２月２６日（水）　１０時

The 1st selection ： 10 AM, July 11 (Wednesday), 2018
The 2nd selection ： 10 AM, December 26 (Wednesday), 2018

本学のホームページ(http://www.kyutech.ac.jp/)上に合格者の受験番号を掲載するとともに，本人に合格通知書を送付します。

Examinee seat numbers of successful applicants will be posted on this Institute's website (http://www.kyutech.ac.jp/), and a written notification of acceptance will be sent by mail.

※　合格通知書等の人名漢字の表記について
　氏名について，コンピュータで表記できない文字は，文字が置き換えられるか，カタカナ等で表記されますので，ご了承ください。
　（例）　吉→吉　　廣→廣　　角→角

※ Orthography of person's name with Chinese Characters for an acceptance letter etc.
　* Names using Chinese characters which are not inscribable with computer will be changed to similar characters or converted to katakana.

８．入学手続　Admission Procedures

入学手続の概要は次のとおりです。その詳細については，合格者に別途通知します。

An outline of the enrollment procedures is as follows. Details will be notified to each successful applicant.

（１）入学手続期間
　平成３０年１０月入学予定者については平成３０年９月下旬を，平成３１年４月入学予定者については平成３１年３月中旬を予定しています。

（1）Registration Period
　Registration is scheduled for late September of 2018 for October 2018 admissions, and mid- March of 2019 for April 2019 admissions.

（２）入学時に要する経費
　①　入学料　２８２，０００円（予定額）
　　［注］外国人合格者のうち日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。
　②　学生教育研究災害傷害保険　１，７５０円（予定額）
　③　後援会費　１０，０００円（予定額）
〔参考〕　授業料（入学後）　前期分　２６７，９００円（予定額）
　　　　　　　　　　　　（年額）　５３５，８００円（予定額）
　　［注］在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。
　　　　外国人合格者のうち日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要です。

（2）Fees for admission procedures
　1. Entrance fee: ¥282,000 (tentative)
　　Note that Japanese Government Scholarship (MEXT) Students are not required to pay the entrance fee.
　2. Research Accident Insurance: ¥1,750 (tentative)
　3. Support Club Fee: ¥10,000 (tentative)
〔Reference〕 Tuition fee（After admission）： ¥267,900 per semester (tentative)
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　¥535,800 per year (tentative)

Note that if the tuition fee is raised after the student enters this Graduate School, he or she is required to pay the new fee. Japanese Government Scholarship (MEXT) Students are not required to pay tuition fee.

９．注 意 事 項　Notes

（１）受験に必要な諸事項は，受験票送付の際に通知します。
試験日の 10 日前になっても受験票が届かない場合は工学部大学院係に問い合わせてください。
なお，変更が生じた場合は，試験当日，工学部大学院係前（総合教育棟１階）に掲示します。

Details regarding the examination will be notified to applicant by mail. Any changes will be posted in front of the **Administrative Office** located on the first floor of the General Education Building on the examination day. If you have not received an examination card 10 days before examination date, please contact the Administrative Office of Kyushu Institute of Technology.

（２）受験の際は，受験票を必ず携帯してください。
Be sure to have your examination card with you when taking the examination.

（３）出願後は，検定料の払い戻し，書類の返却及び記載事項の変更を認めません。
Once application has been submitted and examination fee paid, no changes may be made, and the Institute cannot return any documents or payments.

（４）障害があり，受験及び修学上特別な配慮を必要とする場合は，出願に先立ち，なるべく早い時期に工学部大学院係に相談してください。
Applicants who have a disability and need special care during the examination or in class once the applicant is accepted should consult the **Administrative Office** in advance.

（５）英語版は外国人学生のためのものであり、日本語版と英語版の解釈が異なる場合は、日本語版を正式なものとします。
The English version is provided only for the guidance of foreign students. In the case of any differences between the Japanese and English versions, the Japanese version shall be considered the correct version.

１０．個人情報の取扱いについて　Handling of Personal Information

本学が取得した個人情報については，入学者選抜で利用するほか，次のとおり利用します。
In addition to the entrance examination, personal information obtained shall be used in the following circumstances:

（１）入学者選抜で利用した成績等を，入学後の学習指導等で利用します。
（２）入学者選抜で利用した成績等を，１年次における授業料免除等の修学支援業務で利用します。
（３）入学者選抜で利用した成績等の個人情報を，個人が特定できない形で，本学における入学者選抜に関する調査研究等で利用することがあります。

(1) Transcripts which are used for entrance examination etc. shall be used in the school guide once applicant is accepted.
(2) Transcripts which are used for entrance examination etc. shall be used to determine whether the applicant should receive financial assistance such as waiver of first year tuition fees.
(3) Documents and personal information such as transcripts for entrance examination etc. may be used in research and studies on the entrance examination system of this Institute in a format that does not disclose the identity of the individual.

※　本学が取得した個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第９条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

* Except for cases stipulated in Article 9 of “Act on the Protection of Personal Information Held by Independent Administrative Agencies”, this Institute will not use personal information it has obtained for any other purposes, or provide it to third parties without the applicant’s consent.

１１．安全保障輸出管理について　　Security Export Control

九州工業大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「九州工業大学安全保障輸出管理規程」を定め，外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，ご注意ください。

【参考】URL：http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html

Kyushu Institute of Technology has established the “Kyushu Institute of Technology Security Export Control Regulations” in accordance with the “Foreign Exchange and Foreign Trade Act”, and rigorously screens potential international students on the basis of these regulations.

International applicants who fall under any of the conditions set out in said regulations may be unable to enter their desired course or program.

Access the following webpage for more details:

URL：http://www.kyutech.ac.jp/english/admissions/security-export-control.html

工学府入学者受入方針

Admissions Policy for Graduate Schools of Engineering

大学院博士前期課程アドミッションポリシー

Master's Program Admissions Policy for Kyutech Graduate Schools after Reorganization

【全学版】
【General】

九州工業大学大学院は，開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき，高い専門性と深い学識を持ち，卓越した能力と豊かな創造性を持って，研究・開発に従事できる高度技術者を育成します。
理工学系専門分野において，独創的思考および研究開発活動を行うための高度な知識と実践的解決力の修得を目指し，これらに必要な基礎学力，専門基礎知識を修得しているとともに，国際化に対応できるコミュニケーション力，様々な文化の理解，技術が社会に果たす役割の理解， 自立性，協調性を身につけている皆さんの入学を期待します。

(1)技術者に必要な基礎学力と工学専門分野の知識を修得し，自然現象を科学的に理解できる
(2)人，社会及び文化に関して理解できる
(3)工学・技術が社会で果たす役割を理解できる
(4)背景や文脈を理解して適切に説明できる日本語能力，および外国語によるコミュニケーションの基本的能力を修得している
(5)問題解決に必要な論理的思考力，分析力，説明能力を修得している
(6)技術者としての倫理観と責任感を備え，社会に貢献する志を有する
(7)自己を律する自己管理ができ，自発的な活動ができる
(8)人々と協調でき，個人の能力も発揮できる

入学者の選抜においては，(1)，(4)及び(5)の一部については主に筆記試験と TOEIC／TOEFL スコアにより，(2)，(3)については主に成績証明書により，(5)の一部，(6)，(7)，(8)については面接試験により評価します。
なお，外国人留学生に関しては，(4)の日本語能力は日本語以外の言語（母国語など）でも可とします。

Based on the motto of the university since its foundation – to instill a deep knowledge of science and engineering in high caliber students – Kyutech Graduate Schools foster highly-skilled engineers who actively participate in research and development, with a high degree of professionalism and in-depth knowledge, outstanding abilities and high creativity.
With the aim of acquiring advanced knowledge and practical problem-solving abilities for creative thinking and research and development activities in the specialized fields of science and engineering, we seek students who, have acquired basic academic abilities that are essential for further study and basic expertise, as well as global communication skills, understanding of diverse cultures, understanding of social roles of technology, independence,

and cooperativeness.
Students should
(1) Understand natural phenomena scientifically with the acquisition of basic academic abilities that are essential for engineers and knowledge of the specialized field of engineering
(2) Understand human beings, society, and cultures
(3) Understand the roles of engineering and technology in society
(4) Have acquired Japanese language or native tongue proficiency for understanding backgrounds and context and providing explanations properly, and a basic ability to communicate in English
(5) Have acquired abilities in logical thinking, analysis, and explanation that are essential for problem-solving
(6) Have ethical standards and a sense of commitment as an engineer, and have an aim of contributing to society
(7) Have self-discipline, and carry out voluntary activities
(8) Cooperate with other individuals and make full use of individuals' capabilities
For admissions selection, We evaluate (1), (4), and part of (5) mainly by written examination and TOEIC/TOEFL scores, (2) and (3) mainly by academic transcript, and part of (5), (6), (7) and (8) by interview.

For international students, Japanese language proficiency in (4) can also be evaluated by language other than Japanese (mother tongue, etc.).

【工学府（前期）】
【Graduate School of Engineering (Master's Program)】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
「ものづくり」を基盤とした最先端科学技術分野において，開学以来掲げてきた「技術に堪能なる士君子」，すなわち，豊かな教養と技術者倫理ならびにコミュニケーション力を備え，科学技術の進歩に対応できる工学基礎力・専門技術力を有し，国際的に活躍できる専門技術者の素養と能力に加え，深い専門知識とそれに基づく課題発見・設定・解決能力，多様な文化の理解に基づく国際的コミュニケーション力を有するグローバル社会で活躍する高度専門技術者の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)基礎学力を充分に修得し，(2)チャレンジ精神が旺盛で，果敢に新たな課題を求め，その解決に取り組もうとする前向きな姿勢を持ち，(3)グローバルな視点で物事を考えることができる人材を求めます。

＜一般選抜及び推薦選抜で受け入れる人材＞
(1)技術者に必要な基礎学力と工学専門分野の知識を修得し，自然現象を科学的に理解でき，(2)外国語によるコミュニケーションのための基本的能力を修得し，(3)問題解決に必要な論理的思考力，分析力，説明能力を修得している人材を受け入れます。

＜社会人特別選抜で受け入れる人材＞
(1)社会人技術者，研究者等が在職のまま修学し，大学と社会との交流を深め，学問と技術の発展に寄与することを目的とし，(2)技術者に必要な基礎学力と工学専門分野の知識を修得し，自然

現象を科学的に理解でき，(3)外国語によるコミュニケーションのための基本的能力を修得し，(4)問題解決に必要な論理的思考力，分析力，説明能力を修得している人材を受け入れます。

＜外国人留学生特別選抜で受け入れる人材＞

(1)技術者に必要な基礎学力と工学専門分野の知識を修得し，自然現象を科学的に理解でき，(2)問題解決に必要な論理的思考力，分析力，説明能力を修得している人材を受け入れます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞

Our objective is to foster － to instill a deep knowledge of science and engineering in high caliber students – the motto of the university since its foundation, in the fields of the most-advanced science and technology based on "Monozukuri (creative engineering)," in other words we aim to educate highly-specialized engineers who will play an active role in global society, provided with a depth and breadth of education, ethics for engineers, and communication skills, having basic engineering skills and specialized technological skills to keep pace with advances in science and technology, in addition to accomplishments and capabilities as an internationally-active professional engineer, having in-depth expertise and abilities to find, set, and solve problems, and global communication skills based on understanding of diverse cultures.

＜Students we seek＞

We seek talented persons who: (1) have sufficiently acquired basic academic abilities, (2) have a positive attitude to address and solve new challenges energetically, and (3) have global perspective.

＜Students accepted by general admissions selection and recommendation selection＞

We accept talented persons who: (1) have acquired basic academic abilities and knowledge of the specialized field of engineering essential for engineers, and can understand natural phenomena scientifically, (2) have acquired a basic ability to communicate in English, and (3) have acquired abilities in logical thinking, analysis, and explanation essential for problem-solving.

＜Students accepted by special admissions selection for working people＞

We accept talented persons who: (1) aim to study as engineers, researchers, etc., while working, deepen relationships between the university and society, and make a contribution to development in academics and technology, (2) have acquired basic academic abilities and knowledge of the specialized field of engineering essential for engineers, and can understand natural phenomena scientifically, (3) have acquired a basic ability to communicate in English, and (4) have acquired abilities in logical thinking, analysis, and explanation essential for problem-solving.

＜Students accepted by special admissions selection for international students＞

We accept talented persons who: (1) have acquired basic academic abilities and knowledge of their specialized field of engineering essential for engineers, and can understand natural phenomena scientifically, and (2) have acquired abilities in logical thinking, analysis, and explanation essential for problem-solving.

【機械知能工学専攻】
【Department of Mechanical and Control Engineering】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
本専攻では，基礎分野として材料科学と熱流体学，応用分野として生産工学と制御知能学，先端極限分野として宇宙工学を配置し，幅広い多様な教育・研究をとおして，広い視野を有し，創造性，応用力，挑戦力に富んだ高度な研究能力や技術開発能力を持つ人材の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)機械工学系や制御工学系の基礎科目を修め，(2)科学技術に関心を持ち，(3)社会や国際化にも目を向けた先進的ものづくりを目指す人材を求めます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
The department includes material sciences and thermal fluid mechanics as basic fields, industrial engineering and control intelligence as application fields, and space engineering as an advanced extreme field. Our objective is to foster talented persons with a high level of research competency and technology development capability who are rich in creativity, application skills, and challenging spirit with a broad vision through broad and diverse education and research.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have acquired basic subjects of mechanical engineering and control engineering, (2) have an interest in science and technology, and (3) aim at advanced engineering with an eye toward society and globalization.

【建設社会工学専攻】
【Department of Civil and Architectural Engineering】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
人が安全，安心，豊かさ，潤いを実感できる社会，生活空間を創造し，持続していくことを目指し，建築学，都市環境デザインの分野を中心とし，幅広い多様な教育・研究を通して，広い視野を有し，高度な専門知識，研究能力，技術開発能力を身に付けた人材の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)建築学，都市環境デザインに強い興味を持ち，(2)特に優れた資質を有する人材を求めます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
Our objective is to foster talented persons with a broad vision, who have gained a high level of expertise, research competency, and technology development capability through broad and diverse education and research, centering on the fields of architecture and civil engineering with the aim of creating and sustaining society and living spaces in which individuals can feel a sense of safety, security, reliability, and prosperity.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have a strong interest in architecture and civil engineering, and (2) are exceptionally well qualified.

【電気電子工学専攻】
【Department of Electrical and Electronic Engineering】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
本専攻では，電気エネルギー，電子デバイス，電子機器，通信システム，センシングシステム，ネットワークシステム，電子物性，計算機及びこれらを有機的に結合するためのシステム化技術に関する教育・研究を行い，高度情報通信社会の発展に電気工学という基盤分野から貢献できるための専門知識と技術を有する人材の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)電気・電子・通信・システム分野の学問に強い興味と意欲を持ち，(2)当該分野の共通の基礎である電磁気学，電気・電子回路学，エネルギー基礎工学，電子物性工学を習得し，(3)かつ，個別専門の基礎過程を修得した優秀な資質を持つ人材を求めます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
The department provides education and research related to electrical energy, electronic devices, electronic equipment, communication systems, sensing systems, network systems, electronic properties, computers, and systemization technology for their organic linkage. Our objective is to foster talented persons who have specialized knowledge and technical skills to make a contribution to the advancement of a highly sophisticated information communication society from the key field of electrical engineering.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have a strong interest and motivation in the academic fields of electricity, electronics, communications, and systems, (2) have acquired knowledge of electromagnetics, electrical and electronic circuits, fundamentals of energy engineering, and engineering of electronic properties, which are fundamentals common in the fields concerned, and (3) are exceptionally qualified as having completed the foundation courses of individual specialties.

【物質工学専攻】
【Department of Materials Science】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
新しい機能を持つ新物質・新材料の設計と合成，それらの構造・物性の解析と機能発現メカニズムの解明，高付加価値物質を利用したシステムの開発，高度産業に対応できる生産プロセスの開発に関する教育・研究を行っている。また，新機能性物質の材料設計・構築と材料科学を総合的に理解できる専門知識と高度な研究能力や技術開発能力を有し，物質工学の分野から産業社会，環境社会に貢献できる人材の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)応用化学・マテリアル工学分野の基礎及び専門の学問を修得し，(2)物質（工学）をベースとして国際化する 21 世紀の社会システムに調和した先端的なものづくりに貢献しようとする人材を求めます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
The department provides education and research related to design and synthesis of new

functional substances and new materials, analysis of their structures and properties and elucidation of mechanisms for expression of functions, development of systems using high-value-added substances, and development of advanced-industry-capable production processes which are able to follow advanced industry. Our objective is to foster talented persons who can make a contribution to industrial society and environmental society from the field of material sciences, having specialized knowledge, advanced research competency, and technology development capability that allow comprehensive understanding of material design and construction of new functional substances and material sciences.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have acquired fundamental and specialized subjects in the fields of applied chemistry and material sciences, and (2) have a desire to make a contribution to cutting-edge engineering in harmony with social systems of the 21st century that have been globalized on the basis of materials (science).

【先端機能システム専攻】
【Department of Applied Science for Integrated System Engineering】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
科学技術創造立国を支える先端的な学際融合分野で常に活躍するための専門知識と能力を有し，社会の要請に柔軟に対応して時代を先導し，人類の発展に寄与する「高度なものづくり」ができる高度専門技術者の人材の養成を目指しています。

＜求める人材＞
(1)機械系，電気電子系，物質系，情報系，数理系の工学分野の何れかで基礎及び専門科目を修め，(2)かつ優れた資質を有する人材を求めます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
Our objective is to foster highly-specialized engineers who can accomplish “advanced engineering” that contributes to the development of human beings, having specialized knowledge and capabilities to always play an active role in cutting-edge integrated interdisciplinary fields that support a nation based on the creativity of science and technology, and lead the times while flexibly responding to social demands.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have acquired fundamental and specialized subjects in the field of mechanical engineering, electrical and electronic engineering, material engineering, information engineering, or mathematical engineering, and (2) are also exceptionally qualified.

大学院博士後期課程アドミッションポリシー

Doctoral Program Admissions Policy for Kyutech Graduate Schools after Reorganization

【全学版】
【General】

九州工業大学大学院は，開学以来の理念である「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき，高い専門性と深い学識を持ち，卓越した能力と豊かな創造性を持って，研究・開発に従事できる高度技術者を育成します。

理工学系専門分野において，最先端の知識と研究開発能力，および他分野と接する境界領域の知識の修得を目指し，これらに必要な専門分野の高度な知識を修得しているとともに，プレゼンテーション力，外国語によるコミュニケーション力，社会に果たす役割の理解，自立性，チームワーク力を身につけている皆さんの入学を期待します。

(1)技術者としての独創的思考および研究開発活動を行うための工学専門分野における高度な知識を修得している
(2)各専門分野が社会で果たす役割を理解できる
(3)研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得している
(4)新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得している
(5)外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている
(6)自己の役割の認識を深める態度を有している
(7)未知の専門的課題に対して，その解決に向けた計画立案と作業の管理ができる
(8)チームの一員としてチーム活動の改善を提案することができる

入学者の選抜においては，上記について，研究報告，研究計画，面接試験，成績証明書により評価します。

Based on the motto of the university since its foundation – to instill a deep knowledge of science and engineering in high caliber students – Kyutech Graduate Schools foster highly-skilled engineers who actively participate research and development, with a high degree of professionalism and in-depth knowledge, outstanding abilities and high creativity.

With the aim of acquiring state-of-the-art knowledge and research and development capabilities and also knowledge of boundary areas bordering on other fields in the specialized fields of science and engineering, we seek students who, have acquired advanced knowledge in the specialized fields, that are essential, and also presentation skills, communication skills in English, understanding of roles in society, independence, and teamwork skills.

Students should
(1) Have acquired advanced knowledge in specialized fields of engineering for creative thinking and research and development activities as an engineer
(2) Understand the roles of the specialized fields in society
(3) Have acquired problem-solving skills that are essential for research and development as high levels of practical abilities
(4) Have acquired presentation skills that are essential for proposal and announcements of

new technologies, etc.
(5) Have learned communication skills in English
(6) Have an attitude toward deepening the awareness of their own roles
(7) Make plans and manage work for solving unknown specialized challenges
(8) Suggest improvements of group activities as a team member

For admissions selection, evaluations are made by research paper, research proposal, interview, and academic transcript.

【工学府（後期）】
【Graduate School of Engineering (Doctoral Program)】

＜技術者及び研究者としての養成目標＞
「ものづくり」を基盤とした最先端科学技術分野における高度な知識を有し，その科学技術社会への波及効果を十分に理解していることに加え，複数の専門分野の知識を身に付け，問題解決能力，独創力，創造性及び実践的技術者としての必要な資質を持ち，イノベーションを創出できる能力を有する人材の養成を目標としています。
さらに，グローバル化する社会の中で，異文化を理解し多文化環境下で新しい価値を生み出す能力を持ち，かつ，リーダーシップを発揮できる人材の育成も目指しています。

＜求める人材＞
(1)技術者としての独創的思考及び研究開発活動を行うための工学専門分野における高度な知識を修得し，(2)新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し，(3)グローバル社会においてコミュニケーション能力を発揮できる人材を求めます。

＜一般選抜で受け入れる人材＞
(1)研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し，(2)外国語によるコミュニケーション能力を身に付け，新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し，(3)未知の専門的課題に対して，その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を習得している人材を求めます。

＜社会人特別選抜で受け入れる人材＞
(1)社会人技術者，研究者等で，在職のまま修学し，大学と社会との交流を深め，学問と技術の発展に寄与することを目的とし，(2)研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し，(3)外国語によるコミュニケーション能力を身に付け，新技術等を提案・公表するために必要なプレゼンテーション能力を修得し，(4)未知の専門的課題に対して，その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を習得している人材を求めます。
＜外国人留学生特別選抜で受け入れる人材＞
(1)研究開発に必要な問題解決能力を実践的な高度技能として修得し，(2)未知の専門的課題に対して，その解決に向けた計画立案と作業の管理能力を習得している人材を受け入れます。

＜Engineer and Researcher Development Objective＞
Our objective is to foster talented persons who have skills to innovate, being qualified as a practical engineer with problem-solving skills, originality, and creativity, having acquired knowledge in multiple fields of specialization, in addition to advanced knowledge in the most-advanced fields of science and technology based on “Monozukuri (creative engineering)”

and understanding of ripple effects in the world of science and technology.
Furthermore, we also aim to foster talented persons who understand different cultures in a globalized society, have skills to create new value under a multicultural environment, and can exercise leadership.

＜Students we seek＞
We seek talented persons who: (1) have acquired advanced knowledge in specialized fields of engineering for creative thinking and research and development activities as an engineer, (2) have acquired presentation skills that are essential for proposal and announcements of new technologies, etc., and (3) can exercise communication skills in a global society.

＜Students accepted by general admissions selection＞
We accept talented persons who: (1) have acquired problem-solving skills that are essential for research and development as high levels of practical abilities, (2) have learned communication skills in English, and acquired presentation skills that are essential for proposal and announcements of new technologies, etc., and (3) have acquired skills to and manage work for solving unknown specialized challenges.

＜Students accepted by special admissions selection for working people＞
We accept talented persons who: (1) aim to study as engineers, researchers, etc., while working, deepen relationships between the university and society, and make a contribution to academic and technological development, (2) have acquired problem-solving skills that are essential for research and development as high levels of practical abilities, (3) have learned communication skills in English, and acquired presentation skills that are essential for proposal and announcements of new technologies, etc., and (4) have acquired skills to plan and manage work for solving unknown specialized challenges.

＜Students accepted by special admissions selection for international students＞
We accept talented persons who: (1) have acquired problem-solving skills that are essential for research and development as high levels of practical abilities, and (2) have acquired skills to plan and manage work for solving unknown specialized challenges.

大学院工学府の概要

Overview of Graduate School of Engineering

Ⅰ．博士前期課程　＜Master's　Programs＞

1.　機械知能工学専攻　＜Department of Mechanical and Control Engineering＞

機械知能工学専攻は，人類の築いてきた知識，経験をさらに発展させ，21 世紀の循環型社会構築の要請に応えうる高機能，高性能，高品質の工業製品の設計生産技術を確立することを目指し，機械工学，制御工学，知能工学，宇宙工学 の分野を中心とし，幅広い多様な教育・研究を通して，広い視野を有し，創造性，応用力，挑戦力に富んだ高度な研究能力や技術開発能力を持つ人材を養成する。そのために，最先端科学技術に十分対応できるよう，基礎から応用までの幅広い総合的・横断的教育研究を行う。

The graduate program of Mechanical and Control Engineering is based on the academic objective of developing knowledge a step further. To achieve this, we intend to establish the design and manufacturing technologies for advanced industrial products that deliver high performance and high quality, in order to satisfy the 21st century's requirements regarding to environmental protection and reusable resources. From these viewpoints, our program aims at educating students through advanced research and advanced professional practice based on our vast education and research capabilities ranging over mechanical engineering, control engineering, artificial intelligence, and space engineering, to allow our students to develop creativity, practical ability, and a challenging attitude. To accomplish these objectives, the graduate program of Mechanical and Control Engineering provides a comprehensive and inter-disciplinary education from the fundamentals to practical application to deal with the state-of-the-art science and technology.

【教育コースの概要】　Outline of Education Courses

教育コース Education Courses	概　　要 Outline
機械工学コース Mechanical Engineering Course	今後も新しい「ものづくり」の中心的役割を担うのが機械工学である。本コースでは，宇宙工学コースと連携して，１)材料に要求される様々な機能・強度を実現するための各種新素材や機能材料の力学的挙動の解明と機能発現・強度評価，２)機械や装置の生産に関係する加工現象解析，加工装置の性能向上，設計から生産に至る情報処理やそれを統合するシステム技術，３)熱流体エネルギーの変換と高効率利用，熱流体・粒子間の力学的相互作用によって発生する諸現象の解明と応用を核とした教育研究を行い，幅広い視野を持つエンジニアを養成する。 Mechanical engineering plays a central role in new products manufacturing (*"Monozukuri"*) at all times. This mechanical engineering course is performed in collaboration with the space engineering course. The education and research provided in the course aims at training engineers with broad horizons based on the following: 1) Study of mechanical behavior of advanced materials and functional materials so as to choose the most adequate material with regards to customer's requirements, such as functionality and strength. 2) Study of production process analysis of machines and products, high performance of manufacturing equipment, and information and its integrated system technology from

	design to production. 3) Study of energy conversion of heat transfer, fluid dynamics, and high performance systems, as well as the study of mechanical interaction phenomena between particles.
宇宙工学コース Space Engineering Course	宇宙開発をはじめ次世代に向けて期待される新技術の開発，地球環境やエネルギー問題の解決のためには宇宙空間に代表される特殊環境に対応できる数々の要素技術と新規応用技術が必要であるが，材料，熱・流体，生産 などの機械工学の側面から解決すべき課題が数多く残っている。宇宙工学コースでは，過酷極限条件下において使用される機械要素，装置及びシステムの基礎と応用に関する教育と研究を機械工学コースと連携して行い，先端工学への牽引的役割を目指す。 In this course, the different technologies relative to space engineering will be investigated, for example, the development of new technologies demanded in future generation, fundamental technologies and their applications to solving issues from viewpoints of material, heat-transfer, hydrodynamics, manufacturing and so on in such special environments as the earth environment and the space environment. This space engineering course is performed in collaboration with the mechanical engineering course, in which education and research will be provided in order to train engineers with leadership and advanced engineering skills.
知能制御工学コース Control Engineering Course	種々の動的な装置には，高性能化，小型化，高知能化技術，あるいは人間に優しいなどの特性が要求される。本コースではこのような要求にこたえるために，制御工学，知能工学，計測工学，電気工学および機械工学などからなるメカトロニクスを中心とした教育研究を行う。 Various machines are commonly expected to be designed to possess state-of-the-art technologies such as higher performance, smaller size, artificial intelligence technologies, and even human-friendly features. This course provides students with a graduate program focused on mechatronics, which encompasses control engineering, artificial intelligence, instrumentation engineering, electrical engineering, and mechanical engineering.

【教員の研究内容，授業科目】　Research and Courses of Faculty Members (Professors)

分野１（機械工学コース・宇宙工学コース）
Area 1（Mechanical Engineering Course/Space Engineering Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents （Keyword）	担当授業科目 Subject
赤星　保浩 AKAHOSHI　Yasuhiro	宇宙ごみ　超高速衝突　二段式軽ガス銃 Orbital Debris, Hypervelocity Impact, Two-Stage Light Gas Gun	高速衝突工学特論 Advanced High Velocity Impact Engineering
梅景　俊彦 UMEKAGE　Toshihiko	粒子複雑系　混相流体力学　粉体力学 Particle Complex System, Multi-Phase Hydrodynamics, Statics and Dynamics of Granular Materials	粉体工学特論 Advanced Powder Technology
河部　徹 KAWABE　Toru	塑性加工　プレス加工　鍛造 塑性変形に関するコンピュータシミュレーション Metal Working, Press Forming, Forging, Numerical Simulation for Plastic Deformation	応用構造解析特論 Advanced Structural Analysis

吉川　浩一 KIKKAWA　Koichi	生産の高度自動化技術　高精度加工法の開発　CAD/CAM Production Engineering, High Precision Manufacturing, CAD/CAM	生産情報処理学特論 Advanced Production Information Processing Technology
黒島　義人 KUROSHIMA　Yoshihito	材料強度　金属疲労　実験力学　超高サイクル疲労 Fracture and Strength of Materials, Fatigue, Experimental Mechanics, Very High Cycle Fatigue	材料強度学特論 Advanced Fracture and Strength of Materials
清水　浩貴 SHIMIZU　Hiroki	精密計測　精密位置決め　機械計測　光応用 Precision Measurement, Precision Positioning, Mechanical Measurement, Applied Optics	計測工学特論 Advanced Measurement Engineering
坪井　伸幸 TSUBOI　Nobuyuki	圧縮性流体力学　粘性流体力学　希薄気体力学 数値流体力学　化学反応　燃焼　航空・宇宙用推進 Compressible Fluid Dynamics, Viscous Fluid Dynamics, Rarefied Gas Dynamics, Computational Fluid Dynamics, Chemical Reaction, Combustion, Propulsion for Aircraft and Space Vehicle	数値流体力学特論 Computational Fluid Dynamics 高速気体力学特論 High-Speed Gas Dynamics
鶴田　隆治 TSURUTA　Takaharu	相変化熱工学　乾燥工学　冷凍工学　燃料電池 バイオ熱伝達 Phase Change, Drying, Refrigeration, Fuel Cell, Bio-Heat Transfer	伝熱学特論 Advanced Heat Transfer
長山　暁子 NAGAYAMA　Gyoko	熱工学　ナノ・マイクロ伝熱　分子動力学解析 界面現象　燃料電池 Thermal Science and Engineering, Nano/Microscale Heat Transfer, Molecular Dynamics Simulation, Interface Phenomena, Fuel Cell	応用熱事象学特論 Advanced Thermal Science and Engineering
野田　尚昭 NODA　Naoaki	新しい機械要素　応力解析　応力特異性　試験片応力集中 Newly Developed Machine Elements, Stress Analysis, Stress Singularity, Stress Concentration for Test Specimen	弾性力学特論 Advanced Theory of Elasticity
平木　講儒 HIRAKI　Koju	潮流発電　羽ばたき式飛行機 パラグライダー自律飛行システム Power Generation by Tidal Current, Flapping Aerial Vehicle, Autonomous Flight System with a Paraglider	スペースダイナミクス特論 Advanced Space Dynamics
松田　健次 MATSUDA　Kenji	トライボロジー　コーティング　硬さ試験　摩擦　寿命 Tribology, Coating, Hardness Test, Friction, Life	機能表面工学特論 Advanced Functional Surface Engineering
宮崎　康次 MIYAZAKI　Koji	熱工学　熱物性　熱伝導　熱ふく射　ナノ・マイクロ伝熱 Thermal Engineering, Thermophysical Properties, Heat Conduction, Thermal Radiation, Nano/Microscale Heat Transfer	エネルギー変換特論 Advanced Energy Conversion
森　直樹 MORI　Naoki	生産工学　機械工作　マイクロ成形 プラスチック成形加工　複合材料 Production Engineering, Machining, Micro Molding Polymer Processing, Polymer Based Composites	
矢吹　智英 YABUKI　Tomohide	熱工学　ナノ・マイクロ伝熱　沸騰熱伝達　MEMS 熱計測 Thermal Engineering, Nano/Microscale Heat Transfer, Boiling Heat Transfer, MEMS Thermal Measurement	熱流体力学特論 Advanced Thermal and Fluid Transport Phenomena

分野２（知能制御工学コース）
Area 2（Control Engineering Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents （Keyword）	担当授業科目 Subject
大屋　勝敬 OYA　Masahiro	車の操縦安定化　移動ロボット パワーアシストロボット　ロバスト制御理論 Steering Control of Vehicle, Mobile Robot, Power Assist Robot, Robust Control	車両制御特論 Advanced Vehicle Control
金　亨燮 KIM　Hyoungseop	コンピュータ画像診断支援　経時差分処理 パターン認識　医用画像処理 Computer Aided Diagnosis, Temporal Subtraction, Pattern Recognition, Medical Image Processing	知的システム構成特論 Advanced Intelligent System
黒木　秀一 KUROGI　Shuichi	ニューラルネットワーク　画像処理　音声処理 予測制御　ロボットの画像計測と制御 Neural Network, Image Processing, Speech Processing, Predictive Control, Image Sensing and Control of Robots	知能システム学特論 Advanced Course of Intelligent Systems
相良　慎一 SAGARA　Shinichi	水中ロボット　宇宙ロボット　マニピュレータ ディジタル制御 Underwater Robot, Space Robot, Manipulator, Digital Control	ロボット制御特論 Advanced Robot Control
タン　ジュークイ TAN　Joo Kooi	マイビジョン（人の第３の目）　３次元復元 人の動作・挙動解析　車載ビジョン　知能ロボット MY VISION, 3D Recovery, Human Motion Recognition and Analysis, Vehicular Vision, Intelligent Robot	視覚情報解析特論 Advanced Visual Information Analysis
西田　健 NISHIDA　Takeshi	確率システム制御　産業用ロボット　３次元物体認識 自律移動ロボット　メタヒューリスティクス Probabilistic System Control, Industrial Robots, 3D Object Recognition, Autonomous Mobile Robots, Metaheuristics	確率システム制御特論 Advanced Probabilistic System Control

2.　建設社会工学専攻　＜Department of Civil and Architectural Engineering＞

建設社会工学専攻は，人が安全，安心，豊かさ，潤いを実感できる社会，生活空間を創造し，持続していくことを目指し，建築学と都市環境デザインを中心とし，幅広い多様な教育・研究を通して，広い視野を有し，高度な専門知識，研究能力，技術開発能力を身につけた人材を養成する。そのために，社会の創造・持続に関わる多様な最先端技術に十分対応できるよう，基礎から応用までの幅広い総合的・横断的教育研究を行う。

The Department of Civil Engineering and Architecture aims to train students to be experts with a broad vision, advanced expertise, research capability and technological development skills through various educations and researches in the field of Architecture and Civil Engineering toward creating a sustainable society. We comprehensively conduct research and education from basic to applied stages. Therefore, our students are able to understand advanced technologies for a sustainable society.

【教育コースの概要】　Outline of Education Courses

教育コース Education Courses	概　　要 Outline
建築学コース Architecture Course	心豊かな生活空間を創造するための建築・都市空間に対する計画やデザイン，および安全で快適な建築物を実現するための構造設計，建築環境，建築施工などの技術について教育研究を行う。 This course conducts education and researches on architectural planning and design of buildings or urban areas, in which affluent human living spaces are created. In addition, education and research about the architectural technology of structural design, environmental design or constructions, etc. by which buildings supporting safe and comfortable living are realized, are also conducted.
都市環境 デザインコース Civil and Environmental Engineering Course	「社会基盤施設に関するもの創りをベースとして，都市の再生，さらには都市の持続や自然災害に対する防災システムなど，都市の安全・安心に関わる技術」と「調和の取れた環境デザインを目標として，日常生活における環境問題を克服し，次世代に安全で潤いのある生活空間を提供するための技術」について教育研究を行う。 This course conducts education and researches on “Civil Engineering Technology of social infrastructure facilities which covers urban regeneration, sustainability and disaster prevention system” and “Environmental Design that takes into account the development, conservation and regeneration of cities and regions to provide the next generation with a safe, secure and sustainable society”.

【教員の研究内容，授業科目】　Research and Courses of Faculty Members (Professors)

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
穴井　謙 ANAI　Ken	建築音環境　騒音対策　アクティブ騒音制御 騒音曝露　建築光環境 Environmental Acoustics, Noise Control Design, Active Noise Control, Noise Exposure, Architectural Visual Environment	建築環境特論 Advanced Architectural Environment Design 建築学特論 Advanced Architecture and Architectural Engineering
伊東　啓太郎 ITO　Keitaro	エコロジカル・デザイン　ランドスケープ・デザイン 緑地設計　都市生態学　自然環境保全 Ecological Design,Landscape Design, Green Space Planning, Urban Ecology, Preserving Natural Environment	環境保全と生態工学 Environmental Preservation and Ecological Engineering
鬼束　幸樹 ONITSUKA　Kouki	静水圧　管路流　開水路流 Hydrostatic Pressure Distribution, Duct Flow, Open-Channel Flow	水工学特論 Advanced Hydraulics
合田　寛基 GODA　Hiroki	コンクリート工学　橋梁工学　ジオポリマー　材料劣化 光学的非接触全視野計測 Concrete Engineering, Bridge Engineering, Geopolymer, Material Deterioration, Optical Noncontact Full-Field Measurement	コンクリート工学特論 Advanced Concrete Engineering

重枝　未玲 SHIGEEDA　Mirei	水工水理学　数値流体力学　河川工学 ダム・湖沼工学　氾濫の水理 Hydraulic Engineering, Computational Fluid Dynamics, River Engineering,Reservoir Sedimentation, Flood Inundation Modeling	数値水理学 Computational Hydraulics
寺町　賢一 TERAMACHI　Kenichi	交通計画　バリアフリー　生活交通　都市防犯 防災避難計画 Transportation Planning, Barrier Free, Local Transportation, Crime Prevention, Evacuation Planning	バリアフリー交通論 Barrier Free Traffic
徳田　光弘 TOKUDA　Mitsuhiro	建築計画・建築設計　地域デザイン　まちづくり リノベーション　建築・不動産事業デザイン ものづくり　災害復興デザイン Architectural Planning & Design, Regional Design, Town Management, Renovation, Architecture & Real Estate Business Design, Manufacturing, Reconstruction Design	建築学特論 Advanced Architecture and Architectural Engineering 建築計画特論 Advanced Architectural Planning
陳　沛山 CHEN　Pei-Shan	建築構造　超高層構造・大空間構造（シェル，膜， ケーブル，スペースフレーム等）　非線形構造解析 構造形態解析　最新構造システムの創出 S-Art 設計理念　古建築構造 Architectural Structure, High-rise Structures and Spatial Structures (Shells, Membranes, Cables, Space frames, etc.), Nonlinear Structural Analysis, Form-finding, New Structure System, Structure-Art (S-Art), Ancient Structures	建築学特論 Advanced Architecture and Architectural Engineering 建築構造特論 Advanced Architectural Structure
永瀬　英生 NAGASE　Hideo	地盤工学　地震防災　液状化　斜面災害　廃棄物地盤 Geotechnical Engineering, Earthquake Disaster Prevention, Liquefaction, Slope Disaster, Waste Material Ground	地盤工学特論 I Advanced Geotechnical Engineering　I 地盤防災工学特論 Advanced Ground Disaster Prevention
日比野　誠 HIBINO　Makoto	建設材料学　施工　レジンコンクリート 電気化学的防食工法　非接触全視野計測 Construction Materials, Construction Works, Resin Concrete, Electrochemical Corrosion Control, Noncontact Full-Field Measurement	建設材料学 Construction Materials
廣岡　明彦 HIROOKA　Akihiko	地盤工学　地盤環境工学　地盤防災　構造物基礎 廃棄物処理 Geotechnical Engineering, Geoenvironmental Engineering, Ground Disaster Prevention Engineering, Foundation Engineering, Waste Treatment	地盤工学特論 I , II Advanced Geotechnical Engineering I , II
松田　一俊 MATSUDA　Kazutoshi	風工学　構造振動学　構造力学　橋梁工学 メンテナンス工学 Wind Engineering, Structural Dynamics, Structural Mechanics, Bridge Engineering, Infrastructure Maintenance Engineering	構造動力学特論 Advanced Structural Dynamics
山口　栄輝 YAMAGUCHI　Eiki	構造力学　鋼構造　橋梁工学　応用力学 メンテナンス工学 Structural Mechanics, Steel Structures, Bridge Engineering, Applied Mechanics, Maintenance Engineering	構造解析学特論 Advanced Structural Analysis 材料力学特論 I , II Advanced Mechanics of Materials I ,　II

吉武　哲信 YOSHITAKE Tetsunobu	土地利用マネジメント　社会的合意形成マネジメント 過疎地域の移動サービス　地域づくり Land Use Management, Consensus Building Management, Transportation System in Underpopulated Areas, Community Vitalization	道路交通環境 Road Traffic and Environment 国土デザインと景観工学 Landscape Design and Planning

3.　電気電子工学専攻　＜Department of Electrical and Electronic Engineering ＞

電気電子工学専攻は，半導体とソフトウエア技術を中心とした高度情報通信社会と環境に調和した高度エネルギー社会の発展に電気・電子工学という基盤分野からの貢献を目指し，高度な専門知識と技術によって社会的ニーズに応えることのできる人材を養成する。

そのために，電気エネルギー，電子物性，電子デバイス，電子機器，通信システム，センシングシステム，ネットワークシステム，信号処理システム及びこれらを有機的に結合するためのシステム化技術に関する教育研究を行う。

The Department of Electrical and Electronic Engineering aims to contribute to an advanced information society and serve its development both in an environmentally friendly and energy-efficient way. The department consists of various studies within the field of fundamental electrical and electronic engineering and has always put special emphasis on the cultivation of students' ability to respond to the diverse needs of society through experiential and technical training.

The educational curriculum in our department includes courses related to electrical energy, solid state physics, electronic devices, electronic systems, sensing systems, network systems and signal processing systems. We conduct research which promotes the systemization and integration of the state-of-art technologies which can better meet the demands of growing industries.

【教育コースの概要】　Outline of Education Courses

教育コース Education Courses	概　　要 Outline
電気工学コース Electrical Engineering Course	巨大エネルギーシステムから分散型電源・自動車・宇宙に至るまで，これからの環境調和高度エネルギー社会をインフラとして支える電気エネルギーの発生・輸送・消費・貯蔵，および超高速･超高密度情報記録､高出力素子から固体照明まで、次世代の電子デバイスと、半導体を柱にしたデバイス材料の開発と応用、デバイス化プロセス、新機能デバイスの開発に関する様々な技術課題について教育研究を行う。 The course provides the highest level engineering education and research projects based on the multi-disciplinary approach over the electric energy management technology and electronic device technology toward future green society, covering a variety of industry segments including, power electronics, large scale energy system, decentralized power source, automotive and spacecraft. The course addresses innovative technological issues related to material, design, production process, assembling and applications of electronic devices together with generation, transport, consumption and storage of electric energy.

電子工学コース Electronic Engineering Course	ディジタルテレビ，携帯電話，自動車の電子制御ユニットなど，マイクロプロセッサを組み込んだ高度な電子システム製品が多くなっている。 本コースでは，アナログ・ディジタル回路，プログラミングなどの基礎技術から，センシング・制御技術，画像・音声信号処理技術，通信・ネットワーク技術などのシステム要素技術，およびこれらを統合するシステム化技術についての教育研究を行う。 All around us, there are various products using microcomputers such as a digital televisions, mobile phones, and automobile electrical control units; the number of these systems increases day by day. The Electrical Engineering course offers an education concerning basic technologies such as an analog circuit, a digital circuit, and programming. Furthermore, the course educates and studies the element and system technologies concerning sensing, control, image processing, audio signal processing, telecommunication, and network technologies.

【教員の研究内容，授業科目】　Research and Courses of Faculty Members (Professors)

分野１（電気工学コース）
Area 1（Electrical Engineering Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
和泉　亮 IZUMI　Akira	半導体プロセス　薄膜堆積　表面洗浄 Semiconductor Processing, Thin Film Deposition, Surface Cleaning	集積回路プロセス特論 Advanced Integrated Circuits Fabrication
大塚　信也 OHTSUKA　Shinya	電力・高電圧工学　部分放電　先端計測・診断 データ解析　航空機耐雷・複合材　環境低負荷 安全安心技術 Electric Power and High Voltage Engineering, Partial discharge, Advanced Measurement and Diagnostic Technologies, Data Analysis, Lightning Protection of Airplane & Composite Material, Environmental-Friendly　Technologies & EMC, Safety Issues and Security	電力システム制御解析特論 Advanced Electric Power System Contorol and Analysis
小迫　雅裕 KOZAKO　Masahiro	誘電・絶縁材料工学　ナノ材料　機能性材料 高電圧・絶縁工学　絶縁診断 Dielectrics and Electrical Insulation, Nano-materials, Functional Materials, High Voltage and Insulation Engineering, Insulation Diagnosis	誘電体工学特論 Advanced Dielectric Engineering
白土　竜一 SHIRATSUCHI Ryuichi	色素増感太陽電池　透明導電膜　光触媒 Dye-sensitized Solar Cells, Transparent Conducting Films, Photocatalysis	電気材料特論 Advanced Electrical Materials
豊田　和弘 TOYODA　Kazuhiro	耐宇宙環境技術　宇宙機の帯放電現象　地上試験法 Space Environment Technology, Spacecraft Charging and Discharging, Spacecraft Ground Testing	エネルギー工学特論 Energy Conversion and Plasma Physics

内藤　正路 NAITOH　Masamichi	表面構造解析　半導体デバイス　グラフェン カーボンナノチューブ　ナノ材料 Surface Structure Analysis, Semiconductor Devices, Graphene, Carbon Nanotube, Nano Materials	薄膜デバイス特論 Fundamenals of Thin-Film Devices and Processing
松平　和之 MATSUHIRA Kazuyuki	強相関電子系　交差相関物性 フラストレート系磁性体 Strongly Correlated Electron Systems, Cross-Correlated Materials, Frustrated Magnets	電子物性基礎論 Fundamentals of Solid State Physics
松本　聡 MATSUMOTO　Satoshi	エネルギーハーベスティング　パワーIC 集積システム　省電力半導体デバイス・回路 Energy Harvesting, Power ICs, Integrated System, Energy Efficient Semiconductor Devices･Circuits	集積回路デバイス特論 Advanced Integrated Circuit
三谷　康範 MITANI　Yasunori	電力系統　安定化制御　省エネルギー　自然エネルギー Power System, Stabilizing Control, Energy Savings, Renewable Energy	電力機器基礎特論 Advanced Electric Power Machine
渡邊　政幸 WATANABE　Masayuki	電力系統　動特性解析　系統安定化制御 Power System,　Power System Dynamics Analysis, Power System Control	電力制御特論 Advanced Power Control

分野２（電子工学コース）

Area 2（Electronic Engineering Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
池永　全志 IKENAGA　Takeshi	コンピュータネットワーク　インターネット 経路制御　通信品質制御　マルチホップ無線網 Computer Network, Internet, Routing, Quality of Service, Wireless LAN, Energy Efficient Networking	インターネット工学特論 Advanced Internet Technologies
市坪　信一 ICHITSUBO　Shinichi	電波伝搬　多重波伝搬　無線回路設計　セル設計 移動体通信 Radio Wave Propagation, Multipath Propagation, Radio Link Design, Cell Design, Mobile Communication Systems	ユビキタス無線特論 Ubiquitous on Radio Communication
河野　英昭 KAWANO　Hideaki	ソフトコンピューティング　画像理解　パターン認識 クラスタリング　人間共生システム Softcomputing, Image Understanding, Pattern Recognition, Clustering, Human Symbolic System	ソフトコンピューティング特論 Softcomputing
芹川　聖一 SERIKAWA　Seiichi	センサ　計測　知的センシング　画像処理 センシングシステム　組み込みシステム Sensor, Measurement, Intelligent Sensing, Image Processing, Sensing System, Embedded System	センシング基礎特論 Sensing Engineering
張　力峰 ZHANG　Lifeng	画像圧縮　画像融合　バイオメトリクス認証 画像センシング　生物画像識別　高齢者支援 Image Compression, Image Fusion, Biometric Authentication, Image Sensing, Creature Identification, Elderly Support	画像信号処理特論 Advanced Image Signal Processing

中司　賢一 NAKASHI　Kenichi	アナログ回路　低消費電力集積回路　RF 回路 システム LSI　センサーシステム Analog Integrated Circuits, Low Power Integrated Circuits,RF Circuits, System LSI, Integrated Sensor Systems	電子回路設計特論 Analog Integrated Circuit Design
中藤　良久 NAKATOH　Yoshihisa	音声認識　音声合成　音声圧縮　オーディオ符号化 聴覚処理　補聴処理　福祉支援 Speech Processing (Recognition, Synthesis, Coding, etc) Assistive Technologies (Hearing Aid, etc), Accessibility	電子システム開発特論 Advanced Electronic Systems Development 技術者コミュニケーション論Ⅰ,Ⅱ Communication Skills for Engineer Ⅰ,Ⅱ
水町　光徳 MIZUMACHI Mitsunori	音響・空間信号処理　特徴抽出　音源分離　雑音除去 残響除去 Acoustic Signal Processing, Acoustic Feature Extraction, Sound Source Separation, Noise Reduction, Dereverberation	音響信号処理特論 Advanced Acoustic Signal Processing
山脇　彰 YAMAWAKI　Akira	ディジタル回路システム　ディジタル回路設計法 センサ応用システム　リコンフィギャラブルシステム 組み込みシステム　コンピュータアーキテクチャ Digital Circuit Systems,Digital Circuit Design, Sensor Application Systems,Reconfigurable Systems, Embedded Systems, Computer Architecture	ディジタル回路システム特論 Digital Circuit System

4.　物質工学専攻　＜Department of Materials Science＞

物質工学専攻は，新機能物質の設計・構築に関する化学と材料科学を総合的に理解し，専門知識と高度な研究能力や技術開発能力及び，独創的な発想に基づいて新物質・新材料を創出し応用する「ものづくり」技術を有し，産業社会や環境社会に貢献できる人材を養成する。

そのために，新しい機能をもつ新物質・新材料の設計と合成，それらの構造・物性の解析と機能発現メカニズムの解明,高付加価値物質を利用したシステムの開発,高度産業に対応できる生産プロセスの開発に関する，分子創製化学，機能設計化学，物質生産化学，マテリアル機能工学，マテリアルプロセス工学に関する総合的な教育研究を行う。

The Department of Materials Science intends to foster talented people who aim to obtain a comprehensive understanding of the design and structure of new functional materials and materials science, possess expert knowledge and advanced research and technological development capacity, and can contribute to the industrial and environmental world from the materials engineering field, thus possessing the capacity for developing new substances and materials based on creative ideas and manufacturing technologies where these are applied.

To that end, we provide a comprehensive education and research relating to molecular chemistry, functional design chemistry, materials production chemistry, mechano-materials engineering, and materials process engineering, which relate to the design and synthesis of new substances and materials having new functions; analysis of their structure and properties and elucidation of their functional expression mechanisms; development of systems using high-value-added materials; and development of production processes that can cater to the needs of the high-tech industry.

【教育コースの概要】　Outline of Education Courses

教育コース Education Courses	概　　要 Outline
応用化学コース Applied Chemistry Course	物質や材料の高度利用が要求される２１世紀の科学技術の要請に応えるために，常に目的に応じた新規な機能をもつ分子の合成，材料の開発が要求される。それと同時に，それらが示す機能を高度に制御していく手法も必要である。また, 開発した材料等を利用するためのシステムやプロセスに関する知識も不可欠である。 このような社会的要請に応え，高度な物質と材料の開発，システムの構築に対応できる学生を育成するため，応用化学を基盤とした幅広い教育研究を行う。 To meet the scientific and technological demands of the 21st century, which call for the sophisticated use of substances and materials, there is an urgent need for materials development and synthesis of molecules having functions relevant to their intended applications. In addition, methods for the sophisticated control of these functions are also necessary. Furthermore, knowledge relating to the systems and processes in which the developed materials can be used is essential. To nurture students who can respond to the aforementioned demands and develop sophisticated substances and materials and build systems, we conduct a wide range of education and research based on applied chemistry.
マテリアル工学コース Materials Science and Engineering Course	材料の持つべき物性を満足する構造を決める「物性最適化」と，そのような構造を合成するための「合成最適化」に関する学問体系を核とした基礎分野の上に成り立ち，実際に新規金属材料やセラミックスなどの開発を行うことができる高度な実験並びに専門技術を修得できるようカリキュラムを編成している。 また，材料科学工学の深化・細分化・応用拡大が急速に展開される現代の社会情勢に対応するため,「１．材料の構造・性質，２．材料の機能・設計，３．材料のプロセス」の３本柱を中心にして，“実践的な材料開発・応用ができる研究者，高度専門技術者の育成”を目指した教育研究を行う。 Building on the basic areas defined by the academic framework relating to physical properties optimization, which determines the structure that satisfies the necessary physical properties of a material, and Synthesis Optimization for synthesizing these kinds of structures, we have built a curriculum that allows students to acquire knowledge of sophisticated experiments as well as the expertise to develop materials such as new metals or ceramics. Moreover, to respond to the current state of society where fragmentation, and the expansion of the range of applications in materials science engineering are progressing fast, we conduct education and research centered around three pillars—1) materials structure/properties, 2) materials function/design, and 3) materials processing—thus aiming to “nurture researchers and highly expert engineers who are capable of practical material development and application.”

【教員の研究内容，授業科目】　Research and Courses of Faculty Members (Professors)

分野１（応用化学コース）
Area 1（Applied Chemistry Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
荒木　孝司 ARAKI　Koji	有機合成　構造有機化学　超分子化学　分子認識 大環状化合物 Organic Synthesis, Supramolecular Chemistry, Molecular Recognition, Macrocycles	機能有機化学特論 Functional Organic Chemistry 物理有機化学特論 Physical Organic Chemistry
植田　和茂 UEDA　Kazushige	蛍光体　透明導電体　酸化物　半導体　電子構造 Phosphors, Transparent Conductors, Oxides, Semiconductors, Electronic Structure	精密無機材料合成特論 Advanced Inorganic Materials Chemistry
横野　照尚 OHNO　Teruhisa	酸化チタン光触媒　可視光応答型光触媒 ナノ反応場分離型光触媒　表面修飾酸化チタン光触媒 酸化チタンナノチューブ TiO_2 Photocatalyst, Visible Light Responsive Photocatalyst, Nano-Reaction Sites Separated Photocatalyst, Surface Modificated TiO_2 Photocatalyst, Titania Nanotube	光触媒機能工学特論 Advanced Functional Photocatalytic Engineering
岡内　辰夫 OKAUCHI　Tatsuo	有機合成　有機金属　有機半導体 複素環化合物合成　炭素骨格形成反応 Organic Synthesis, Organometallic Chemistry, Organic Semiconductor, Heterocyclic Chemistry, C-C bond formation	有機合成化学特論 Advanced Synthetic Organic Chemistry 有機金属化学特論 Advanced Organometallic Chemistry
北村　充 KITAMURA　Mitsuru	有機合成　全合成　天然物　アミノ化　ジアゾ化合物 アジド　複素環 Organic Synthesis, Total Synthesis, NaturalProducts, Amination, Diazo-compouns, Azido, Heterocycles	精密有機合成化学特論 Advanced Synthetic Organic Chemistry 錯体化学特論 Advanced Coordination Chemistry
佐藤　しのぶ SATOU　Shinobu	バイオ電気化学　超分子化学　バイオチップ Bioelectrochemistry, Supramolecular chemistry, Biochip	バイオ計測学特論 Advanced Bioanalytical Chemistry
清水　陽一 SHIMIZU　Youichi	無機材料化学　電気化学　機能材料物性学 固体イオニクス　電極触媒化学 Inorganic Materials Chemistry, Electrochemistry, Physical Chemistry for Functional Materials, Solid State Ionics, Electrocatalytic Chemistry	センサ化学特論 Chemical Sensor Technology 無機化学概論 Inorganic Chemistry
城﨑　由紀 SHIROSAKI　Yuki	生体材料　再生医療　細胞　組織工学 Biomaterials，Regenerative Medicine, Cell, Tissue Engineering	生体機能化学特論 Advanced Biofunctional Chemistry
竹中　繁織 TAKENAKA　Shigeori	インターカレータ　バイオチップ　核酸 たんぱく質工学　癌診断 Intercalator , Biochip, Nucleic Acid Chemistry, Protein Engineering, Cancer Diagnosis	分析化学特論 Advanced　Analytical Chemistry
柘植　顕彦 TSUGE　Akihiko	構造有機化学　シクロファン　分子認識 生体関連化学　分子組織学 Structural Organic Chemistry, Cyclophane, Molecular Recognition, Biologically-Relevant Chemistry, Molecular Histology	構造有機化学特論 Structural Organic Chemistry
坪田　敏樹 TSUBOTA　Toshiki	ダイヤモンド　炭素材料　電気化学キャパシタ Diamond, Carbon Material, Eelectrochemical Capacitor	ナノ材料化学特論 Nanomaterial Chemistry 機能材料創製特論 New Functional Material

中戸　晃之 NAKATO　Teruyuki	無機ナノシート　液晶　ソフトマテリアル 無機－有機相互作用　光機能材料 Inorganic Nanosheet, Liquid Crystal, Soft Material, Inorganic-Organic Interactions, Photofunctional Material	集合体化学特論 Chemistry of Hybrid Materials 無機化学概論 Inorganic Chemistry
山村　方人 YAMAMURA　Masato	コーティング　相分離　ポリマーフィルム　乾燥 Thin Liquid Film Coating, Phase Separation, Polymer Film, Drying	化学工学概論 Chemical Engineering Exercise 工業反応装置特論 Advanced Chemical Reaction Engineering

分野２（マテリアル工学コース）

Area 2（Materials Science and Engineering Course）

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
秋山　哲也 AKIYAMA　Tetsuya	接合部強度　曲面展開　曲面成形　面内ひずみ レーザフォーミング Joint Strength, Curved Surface Developing, Curved Surface Forming, In-Plane Strain, Laser Forming	造形力学特論 Forming Mechanics
石丸　学 ISHIMARU　Manabu	量子ビーム技術　構造解析 透過電子顕微鏡　シミュレーション Quantum Beam Technology, Structure Analysis, Transmission Electron Microscopy, Simulation	極微構造解析学特論 Advanced Structure Analysis
北村　貴典 KITAMURA　Takanori	溶接　継手強度　溶接変形　熱伝導 Welding, Joint Strength, Welding Deformation, Heat Conduction	溶接力学特論 Welding Mechanics
高須　登実男 TAKASU　Tomio	素材プロセス　材料リサイクル　金属製錬 廃棄物処理プロセス開発と制御 Materials Processing, Materials Recycling, Metallurgical Extraction and Refining, Development and Control of Waste Treatment Processes	材料反応速度特論 Advanced Reaction Kinetics in Materials Processing
徳永　辰也 TOKUNAGA　Tatsuya	材料・プロセス設計　状態図　相平衡　相変態 Materials Design and Processing, Phase Diagrams, Phase Equilibria, Phase Transformations	材料相変態特論 Phase Transformations in Materials
堀出　朋哉 HORIDE　Tomoya	薄膜　超伝導材料　ナノ構造　材料物性 Thin Film Materials, Superconducting Materials, Nanostructure, Physical Properties	薄膜材料学特論 Advanced Thin Film Materials
堀部　陽一 HORIBE　Yoichi	機能性材料　材料物性　相転移　電子顕微鏡 Functional Materials, Physical Properties, Phase Transitions, Electron Microscopy	構造相転移学特論 Advanced Structural Phase Transition
松本　要 MATSUMOTO　Kaname	超伝導　量子効果　薄膜　ナノ構造　エネルギー Superconductivity, Quantum Effect, Thin Film, Nanostructure, Energy	結晶成長学特論 Statistical Physics of Crystal Growth
山口　富子 YAMAGUCHI　Tomiko	異種金属接合　レーザ加工処理　表面改質 改質層の特性評価 Dissimilar Metal Joining, Laser Processing, Surface Modification, Characterization of the Modified Layer	表面改質工学特論 Surface Modification
横山　賢一 YOKOYAMA　Kenichi	材料強度　環境材料　生体材料　破壊 Strength of Materials, Corrosion, Biomaterials, Fracture	環境材料強度学特論 Environmental Degradation of Materials

5.　先端機能システム工学専攻

＜Department of Applied Science for Integrated System Engineering＞

先端機能システム工学専攻は，科学技術創造立国を支える先端的な学際融合分野において常に活躍するための専門知識と能力を有し，社会の要請に柔軟に対応して時代を先導し，人類の発展に寄与する「高度なものづくり」ができる高度専門技術者の人材を養成する。そのために，本専攻は，分野横断型の専攻として複数の工学応用分野と基礎科学分野にまたがり，他の工学専攻との有機的な連携も図りつつ，複眼的な視点からの総合的な教育研究を行う。

The Department of Applied Science for Integrated System Engineering aims to foster advanced professional engineers who have highly specialized knowledge and abilities for working in an advanced interdisciplinary field supporting a nation of innovative science and technology and are capable of leading a new era, flexibly responding to the demands of society and contributing to the promotion of human welfare. To achieve this, the department's program is designed to pursue integrated research and educational activities with a multifaceted viewpoint, maintaining collaboration with other departments and spanning different applied engineering fields and basic sciences as a department based on transdisciplinary science and technology.

【教員の研究内容，授業科目】　Research and Courses of Faculty Members (Professors)

担当教員 Teachers in Charge	研究内容（キーワード） Research Contents　(Keyword)	担当授業科目 Subject
岩田　稔 IWATA　Minoru	宇宙環境　劣化　熱制御　熱物性　機能性材料　材料物性 Space Environments, Degradation, Thermal Control, Thermophysical Properties, Functional Materials, Materials Properties	宇宙材料劣化特論 Materials Degradation in Space Environments
大門　秀朗 OKADO　Hideaki	走査トンネル顕微鏡　表面・界面物性　ナノ材料 透過電子顕微鏡　原子・電子構造 Scanning Tunneling Microscopy, Surface and Interface Properties, Nano Materials, Transmission Electron Microscopy, Atomic and Electronic Structures	メゾスコピック系物理学特論 Mesoscopic Physics
奥山　圭一 OKUYAMA　Keiichi	宇宙環境　宇宙機システム　構造設計　構造試験 構造力学　材料力学　複合材料　熱力学　伝熱学 Space Environment, Spacecraft, Structural Designing, Structural Testing, Strength of Structures, Material Strength, Composite Material, Thermodynamics,　Heat transfer engineering	宇宙構造材料特論 Spacecraft Structure and Material
小森　望充 KOMORI　Mochimitsu	超電導応用　磁気浮上　超環境メカトロニクス 電磁力応用 Applied Superconductivity, Magnetic Levitation, Super Mechatronics, Applied Electromagnetics	メカトロニクス特論 Advanced Mechatronics
坂井　伸朗 SAKAI　Nobuo	ロボティクス　医用・福祉工学　バイオメカニクス 設計工学　トライボロジ Robotics, Biomedical Engineering, Biomechanics, Mechanical Design Engineering, Tribology	生体機能設計学特論 Bionic Design
孫　勇 SUN　Yong	半導体物理　半導体デバイス　SiC 結晶成長 固体物理　水素プラズマ低温スパッタリング Semiconductor Physics, Semiconductor Devices, SiC Crystal Growth, Solid State Physics, Hydrogen Plasma Sputtering	ナノ材料およびデバイス特論 Nanomaterials & Nanodevices

竹澤　昌晃 TAKEZAWA　Masaaki	磁気応用　磁区観察　永久磁石　電磁鋼板　微細加工 Magnetic Application, Magnetic Domain Observation, Permanent Magent, Si-Fe Electrical Sheet, Microfabrication	磁気工学特論 Magnetic Engineering
趙　孟佑 CHO　Mengu	宇宙機器と宇宙環境の相互作用　宇宙用機器の高電圧化 衛星帯電　次世代宇宙システム　小型衛星 Spacecraft Environment Interaction, High Voltage in Space, Spacecraft Charging, Next-Generation Space System, Small Satellite	衛星工学入門 Introduction to Satellite Engineering 宇宙環境試験 Space Environment Testing
本田　崇 HONDA　Takashi	磁気応用　マイクロマシン　マイクロロボティクス バイオミメティクス　科学教材 Applied Magnetics, Micromachine, Microrobotics, Biomimetics, Science Education	ＭＥＭＳ工学特論 Micro Electromechanical Systems
脇迫　仁 WAKIZAKO　Hitoshi	センサ　画像処理　距離画像　ロボット　品質工学 Sensor, Image Processing, Range Image, Robot, Industrial Engineering	ディジタル信号処理特論 Digital Signal Processing
浅海　賢一 ASAMI　Kenichi	組み込みシステム　再構成可能コンピュータ ３次元画像計測　ステレオビジョン　視覚ナビゲーション Embedded Systems, Reconfigurable Computing, 3D Image Measurement, Stereo Vision, Visual Navigation	組み込みシステム特論 Advanced Embedded Systems
猪平　栄一 INOHIRA　Eiichi	サービスロボット　支援ロボット ソフトウェアフレームワーク　機械学習 Service Robots, Assistive Robots, Software Framework, Machine Learning	強化学習持論 Reinforcement Learning
小田　勝 ODA　Masaru	光物性物理　光機能性材料　半導体量子ドット 有機ナノ構造　有機無機複合材料　顕微・超高速分光 Solid State Photophysics, Optical Functional Materials, Semiconductor Quantum Dots, Organic Nanostructures, Organic-Inorganic Hybrid Materials, Ultrafast / Microscopic Spectroscopy	ナノ構造光物性特論 Photophysics of Nanostructures
鎌田　裕之 KAMADA　Hiroyuki	少数粒子系物理学　原子核理論　量子力学的散乱問題 相対性理論　カイラル摂動理論 Few-Body Systems, Theoretical Nuclear Physics, Scattering Problem in Quantum dynamics, Relativity, Chiral Perturbation Theory	量子力学特論 Advanced Quantum Mechanics
酒井　浩 SAKAI　Hiroshi	数理論理学　計算論理数学　情報数学　ラフ集合理論 論理プログラム Mathematical Logic, Computational Logic, Computational Mathematics, Rough Set Theory, Logic Program	計算数学特論 Advanced Computational Mathematics
鈴木　智成 SUZUKI　Tomonari	非線形解析学　凸解析学　集合値解析　不動点 非拡大半群 Nonlinear Analysis, Convex Analysis, Set-Valued Analysis, Fixed Point, Nonexpansive Semigroup	非線形解析学特論 Advanced Nonlinear Analysis
出口　博之 DEGUCHI　Hiroyuki	ナノスピン機能材料　メゾスコピック超伝導 新奇量子サイズ効果　低次元量子磁性　核磁気共鳴法 Nanoscale Magnetic Materials, Mesoscopic Superconductivity, Novel Quantum Size Effect,Low Dimensional Magnetism, Nuclear Magnetic Resonance	超伝導工学特論 Advanced Superconducting Electronics
中尾　基 NAKAO　Motoi	半導体　SOI　電子デバイス　光デバイス 光電子集積回路 Semiconductor, SOI, Electron Device, Optical Device, Electron-photon Merged Device	半導体薄膜電子デバイス特論 Semiconductor Thin-film Devices

中村　和磨 NAKAMURA　Kazuma	物性理論　第一原理計算　多体摂動論 低エネルギー有効模型導出　　強相関電子系 Condensed Matter Theory, First Principles Calculation, Many-Body Perturbation Theory, Ab Initio Derivation of Effective Low-energy Model, Strongly Correlated Electron System	固体物理学特論 Advanced Solid State Physics
野田　尚廣 NODA　Takahiro	微分方程式の幾何学　微分式系　リー代数 微分方程式の対称性　幾何学的不変量 Geometry of Differential Equations, Exterior Differential Systems,Lie Algebras, Symmetries of Differential Equations, Geometric Invariants	応用幾何学特論 Applied Geometric Theory
花沢　明俊 HANAZAWA　Akitoshi	視覚認知　視覚モデル　画像認識　機械学習　並列計算 Visual Perception, Vision Modeling, Pattern Recognition, Machine Learning, Parallel Processing	視覚画像認識特論 Vision and Image Recognition
平之内 俊郎 HIRANOUCHI　Toshiro	類体論、代数的Ｋ理論 Class Field Theory, Algebraic K-theory	応用代数学特論 Advanced Applied Algebraic Theory
藤田　敏治 FUJITA　Toshiharu	数理計画　最適化　動的計画　決定過程 オペレーションズ・リサーチ Optimization, Mathematical Programming, Dynamic Programming Theory, Decision Processes, Operations Research	計画数学特論 Advanced Mathematical Programming and Control
三浦　元喜 MIURA　Motoki	ヒューマンコンピュータインタラクション 学習・発想支援　グループウエア 実世界志向インターフェイス Human Computer Interaction, E-Learning, Creativity Support, Groupware, Augmented Reality	インタラクティブシステム特論 Advanced Interactive System
美藤　正樹 MITO　Masaki	超伝導　ＳＱＵＩＤ　精密磁気測定　超高圧実験 磁性ナノ粒子　超音波活性 Superconductivity, Superconducting Quantum Interference Device, Precise Magnetic Measurement, High-Pressure Experiment, Magnetic Nanoparticles, Shear -Wave Activity	量子物性特論 Quantum Condensed Matter
若狭　徹 WAKASA　Tohru	反応拡散系　非線形偏微分方程式 分岐構造とダイナミクス　微分方程式論 非線形解析学　現象数理 Reaction Diffusion Systems, Nonlinear Partial Differential Equations, Bifurcation Structure and Dynamics, Differential Equations, Nonlinear Analysis, Mathematical Modeling	応用解析特論 Advanced Applied Analysis
渡辺　真仁 WATANABE　Shinji	物性理論　磁性　超伝導　量子輸送現象　量子多体系 強相関電子系 Condensed Matter Physics Theory, Magnetism, Superconductivity, Quantum Transport Phenomena, Quantum Many Body System, Strongly Correlated Electron System	物性物理学特論 Advanced Solid State Physics

Ⅱ．博士後期課程　＜Doctoral　Programs＞

6.　工学専攻　＜Department of Engineering＞

工学専攻は，「ものづくり」を基盤とした最先端科学技術分野における高度な知識を有し，その科学技術社会への波及効果を十分に理解していることに加え，複数の専門分野の知識を身に付け，問題解決能力，独創力，創造性及び実践的技術者としての必要な資質を持ち，イノベーションを創出できる能力を有する人材を養成する。さらに，グローバル化する社会の中で，異文化を理解し多文化環境下で新しい価値を生み出す能力を持ち，かつ，リーダーシップを発揮できる人材を養成する。

そのために，複数の専門領域の学識と実務に使えるコミュニケーション力・マネージメント力を身につけさせるよう総合的な教育研究を行う。

The Graduate School of Engineering offers opportunities to research in multiple fields with a set of courses for expertise, communicative skills and leadership management. In order to develop students' knowledge and abilities, the Graduate School focuses not only on fundamental and up-to-date knowledge in the related engineering fields so that students can envision its impact and influence on society, but also on the mastery of several engineering fields which contributes to the creation of innovative technologies. Students should, thus, acquire the leadership skills based on cross-cultural understanding that, in turn, can provide new values in various multicultural environments.

【各専門領域の概要】　Outline of Education Courses

専門領域 Major	概　　要 Outline
機械知能工学領域 Mechanical and Control Engineering	＜機械工学系＞ 今後も新しい「ものづくり」の中心的役割を担うのが機械工学系である。本系では，宇宙工学系と連携して，１)材料に要求される様々な機能・強度を実現するための各種新素材や機能材料の力学的挙動の解明と機能発現・強度評価，２)機械や装置の生産に関係する加工現象解析，加工装置の性能向上，設計から生産に至る情報処理やそれを統合するシステム技術，３)熱流体エネルギーの変換と高効率利用，熱流体・粒子間の力学的相互作用によって発生する諸現象の解明と応用を核とした教育研究を行い，幅広い視野を持つエンジニアを養成する。 ＜Mechanical Engineering Course＞ Mechanical engineering plays a central role in new products manufacturing (*"Monozukuri"*) at all times. This mechanical engineering course is performed in collaboration with the space engineering course. The education and research provided in the course aims at training engineers with broader horizons based on the following: 1) Study of mechanical behavior of advanced materials and functional materials to be able to choose the most adequate material with regards to customer's requirements, such as functionality and strength. 2) Study of production process analysis of machines and products, high performance of manufacturing equipment, and information and its integrated system technology from design to production.

機械知能工学領域 Mechanical and Control Engineering	3) Study of energy conversion of heat transfer, fluid dynamics, and high performance systems, as well as study of mechanical interaction phenomena between particles. ＜宇宙工学系＞ 宇宙開発をはじめ次世代に向けて期待される新技術の開発，地球環境やエネルギー問題の解決のためには宇宙空間に代表される特殊環境に対応できる数々の要素技術と新規応用技術が必要であるが，材料，熱・流体，生産 などの機械工学の側面から解決すべき課題が数多く残っている。宇宙工学系では，過酷極限条件下において使用される機械要素，装置及びシステムの基礎と応用に関する教育と研究を機械工学系と連携して行い，先端工学への牽引的役割を目指す。 ＜Space Engineering Course＞ In this course, the different technologies relative to space engineering will be introduced, for example, the development of new technologies demanded in future generation, fundamental technologies and their applications to solving issues from viewpoints of material, heat-transfer, hydrodynamics, manufacturing and so on in special environments as earth and space environments as the earth environment and the space environment. This space engineering course is performed in collaboration with the mechanical engineering course, in which education and research will be provided in order to train engineers with leadership skill to advance engineering. ＜知能制御工学系＞ 種々の動的な装置には，高性能化，小型化，高知能化技術，あるいは人間に優しいなどの特性が要求される。本系ではこのような要求にこたえるために，制御工学，知能工学，計測工学，電気工学および機械工学などからなるメカトロニクスを中心とした教育研究を行う。 ＜Control Engineering Course＞ Various machines are commonly expected to be designed to possess state-of-the-art technologies such as higher performance, smaller size, artificial intelligence technologies, and even human-friendly features. This course provides students with a graduate program focused on mechatronics, which encompasses control engineering, artificial intelligence, instrumentation engineering, electrical engineering, and mechanical engineering.
建設社会工学領域 Civil and Architectural Engineering	＜建築学系＞ 心豊かな生活空間を創造するための建築・都市空間に対する計画やデザイン，および安全で快適な建築物を実現するための構造設計，建築環境，建築施工などの技術について教育研究を行う。 ＜Architecture Course＞ This course conducts education and researches on architectural planning and design of buildings or urban areas, in which affluent human living spaces are created. In addition, education and research about the architectural technology of structural design, environmental design or constructions, etc. by which buildings supporting safe and comfortable living are realized, are also conducted.

建設社会工学領域 Civil and Architectural Engineering	＜都市環境デザイン系＞ 「社会基盤施設に関するもの創りをベースとして，都市の再生，さらには都市の持続や自然災害に対する防災システムなど，都市の安全・安心に関わる技術」と「調和の取れた環境デザインを目標として，日常生活における環境問題を克服し，次世代に安全で潤いのある生活空間を提供するための技術」について教育研究を行う。 ＜Civil and Environmental　Engineering Course ＞ This course conducts education and researches on “Civil Engineering Technology of social infrastructure facilities which covers urban regeneration, sustainability and disaster prevention system” and “Environmental Design that takes into account the development, conservation and regeneration of cities and regions to provide the next generation with a safe, secure and sustainable society”.
電気電子工学領域 Electrical and Electronic Engineering	＜電気工学系＞ 巨大エネルギーシステムから分散型電源・自動車・宇宙に至るまで，これからの環境調和高度エネルギー社会をインフラとして支える電気エネルギーの発生・輸送・消費・貯蔵，および超高速･超高密度情報記録､高出力素子から固体照明まで、次世代の電子デバイスと、半導体を柱にしたデバイス材料の開発と応用、デバイス化プロセス、新機能デバイスの開発に関する様々な技術課題について教育研究を行う。 ＜Electrical Engineering Course＞ The course provides the highest level engineering education and research projects based on the multi-disciplinary approach over the electric energy management technology and electronic device technology toward future green society, covering a variety of industry segments including, power electronics, large scale energy system, decentralized power source, automotive and spacecraft. The course addresses innovative technological issues related to material, design, production process, assembling and applications of electronic devices together with generation, transport, consumption and storage of electric energy. ＜電子工学系＞ ディジタルテレビ，携帯電話，自動車の電子制御ユニットなど，マイクロプロセッサを組み込んだ高度な電子システム製品が多くなっている。 本系では，アナログ・ディジタル回路，プログラミングなどの基礎技術から，センシング・制御技術，画像・音声信号処理技術，通信・ネットワーク技術などのシステム要素技術，およびこれらを統合するシステム化技術についての教育研究を行う。 ＜Electronic Engineering Course＞ All around us, there are various products using microcomputers such as a digital television, a mobile phone, and an automobile electrical control unit, and the number of these systems increases day by day. The Electronic Engineering course offers an education and study concerning basic technologies such as an analog circuit, a digital circuit, and programming. Furthermore, the course educates and studies the element and system technologies concerning sensing, control, image processing, an audio signal processing, telecommunication, and network technologies.

	＜応用化学系＞ 物質や材料の高度利用が要求される２１世紀の科学技術の要請に応えるために，常に目的に応じた新規な機能をもつ分子の合成，材料の開発が要求される。それと同時に，それらが示す機能を高度に制御していく手法も必要である。また，開発した材料等を利用するためのシステムやプロセスに関する知識も不可欠である。 このような社会的要請に応え，高度な物質と材料の開発，システムの構築に対応できる学生を育成するため，応用化学を基盤とした幅広い教育研究を行う。 ＜Applied Chemistry Course＞ To meet the scientific and technological demands of the 21st century, which call for the sophisticated use of substances and materials, there is an urgent need for materials development and synthesis of molecules having functions relevant to their intended applications. In addition, methods for the sophisticated control of these functions are also necessary. Furthermore, knowledge relating to the systems and processes in which the developed materials can be used is essential. To nurture students who can respond to the aforementioned demands and develop sophisticated substances and materials and build systems, we provide a variety of classes and research based on applied chemistry.
物質工学領域 Materials Science 物質工学領域 Materials Science	＜マテリアル工学系＞ 材料の持つべき物性を満足する構造を決める「物性最適化」と、そのような構造を合成するための「合成最適化」に関する学問体系を核とした基礎分野の上に成り立ち、実際に新規金属材料やセラミックスなどの開発を行うことができる高度な実験並びに専門技術を修得できるようカリキュラムを編成している。 また、材料科学工学の深化・細分化・応用拡大が急速に展開される現代の社会情勢に対応するため、「１．材料の構造・性質、２．材料の機能・設計、３．材料のプロセス」の３本柱を中心にして、“実践的な材料開発・応用ができる研究者、高度専門技術者の育成”を目指した教育研究を行う。 ＜Materials Science and Engineering Course＞ Building on the basic areas defined by the academic framework relating to Physical Properties Optimization, which determines the structure that satisfies the necessary physical properties of a material, and Synthesis Optimization for synthesizing these kinds of structures, we have built a curriculum that allows students to acquire knowledge of sophisticated experiments as well as the expertise to develop materials such as new metals or ceramics. Moreover, to respond to the current state of society where deepening, fragmentation, and expansion of the range of applications in materials science engineering are progressing fast, we conduct education and research centered around three pillars—1) materials structure/properties, 2) materials function/design, and 3) materials processing—thus aiming to “nurture researchers and highly expert engineers who are capable of practical material development and application.”

先端機能システム 工学領域 Applied Science for Integrated System Engineering	＜先端機能システム工学系＞ 　科学技術創造立国を支える先端的な学際融合分野で常に活躍するための専門知識と能力を有し，社会の要請に柔軟に対応して時代を先導し，人類の発展に寄与する「高度なものづくり」ができる高度専門技術者の人材を養成することを目的とする。そのために，本領域は，分野横断型の領域として複数の工学応用分野と基礎科学分野にまたがり，他領域との有機的な連携も図りつつ，複眼的な視点からの総合的な教育研究を行う。 ＜Applied Science for Integrated System Engineering Course＞ The applied science for integrated system engineering course aims to foster advanced professional engineers who have highly specialized knowledge and abilities for working in an advanced interdisciplinary field supporting a nation of innovative science and technology and are capable of leading a new era, flexibly responding to the demands of society and contributing to the promotion of human welfare. To achieve this, the department's program is designed to pursue integrated research and educational activities with a multifaceted viewpoint, maintaining collaboration with other departments and spanning different applied engineering fields and basic sciences as a department based on transdisciplinary science and technology.

【教員の研究内容，授業科目】 Research and Courses of Faculty Members (Professors)

「1. 機械知能工学専攻」～「5. 先端機能システム工学専攻」の【教員の研究内容，授業科目】を参照のこと。

なお，出願に関しては，指導を希望する教員に事前連絡を行い，研究テーマ及び学位取得までの研究計画について確認しておくこと。

Please refer to "Research and Courses of Faculty Members (Professors)" between "Mechanical and Control Engineering" from "Applied Science for Integrated System Engineering".

In regard to their application, applicants are required to contact the professor they hope to study under at Kyutech beforehand and then discuss their research topic and research plan for obtaining the degree with him/her.

コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

http://www.sej.co.jp

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の**「学び・教育」**よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払
▼

LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

http://www.lawson.co.jp　http://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の**「各種サービスメニュー」**よりお申込みください。

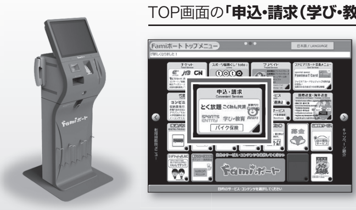
「各種申込（学び）」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、小・中・高校等お支払い
▼

あなたと、コンビに、FamilyMart Famiポート

http://www.family.co.jp

最寄りの「ファミリーマート」にある「Famiポート」へ。

TOP画面の**「申込・請求（学び・教育）」**よりお申込みください。



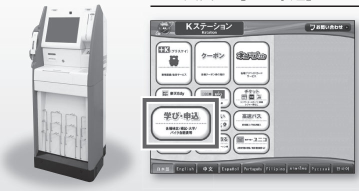
申込・請求
↓
学び・教育
↓
各種（入学検定料等）お支払いサービス
▼

サークルK サンクス Kstation（ケイ ステーション）

http://www.circleksunkus.jp

最寄りの「サークルK・サンクス」にある「Kステーション」へ。

TOP画面の**「学び・申込」**よりお申込みください。



「学び・申込」
↓
各種（入学検定料等）のお支払い
▼

▼

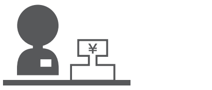
お申込みの大学　をタッチし、申込情報を入力して**「払込票／申込券／受付票」**を発券ください。

＊画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

2 お支払い

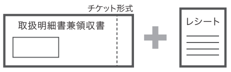
①コンビニのレジでお支払いください。

端末より「払込票」（マルチコピー機）または「申込券」（Loppi、Famiポート）または「受付票」（Kステーション）が出力されますので、30分以内にレジにてお支払いください。



②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」（マルチコピー機、Kステーション）または「取扱明細書兼領収書」（Loppi、Famiポート）。



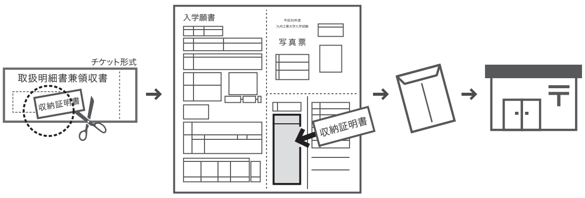
＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料	入学検定料が5万円未満	432円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、願書の「検定料納入証明書等貼り付け欄」に貼り付け、郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

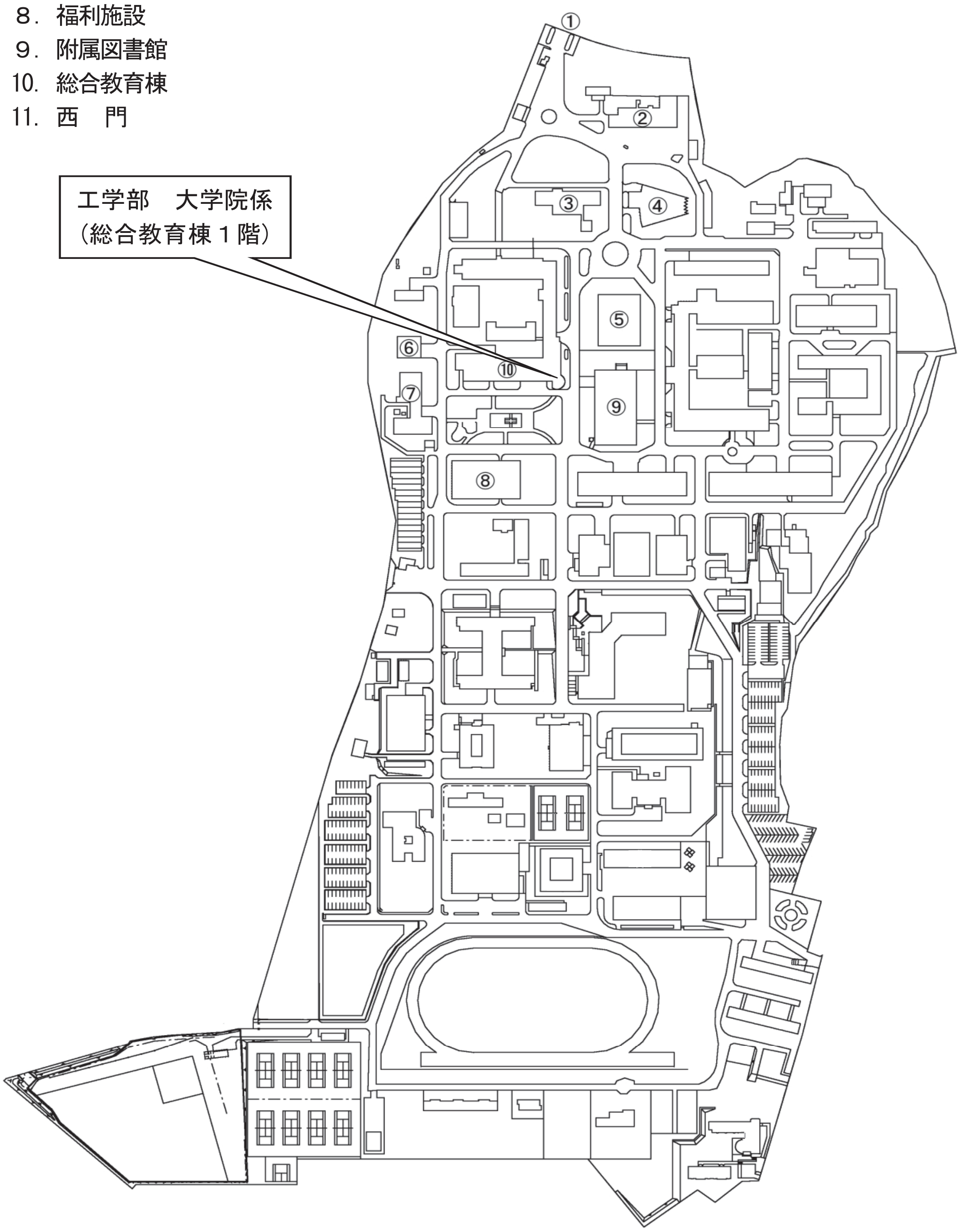


【入試に関するお問合わせ先】九州工業大学　大学院工学府（大学院係）　TEL 093-884-3057／大学院情報工学府（大学院係）　TEL 0948-29-7520
大学院生命体工学研究科（教務・入試係）　TEL 093-695-6006
（受付時間）月曜～金曜　9:00～17:00　＊土日・祝日を除く

【操作などのお問合わせ先】学び・教育サポートセンター　http://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

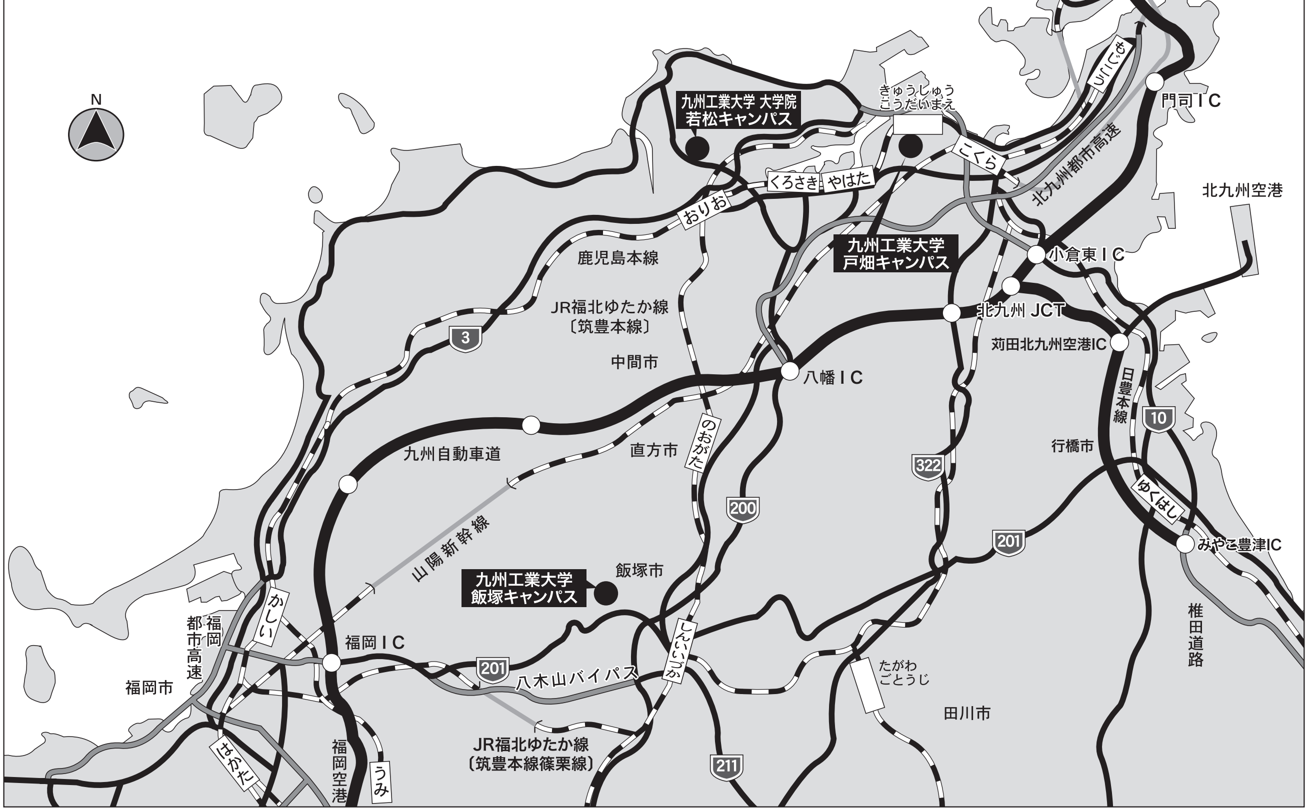
工学部（戸畑キャンパス）　〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号

1．正　門
2．本部棟
3．鳳龍会館
4．記念講堂
5．百周年中村記念館
6．保健センター
7．大学会館
8．福利施設
9．附属図書館
10．総合教育棟
11．西　門

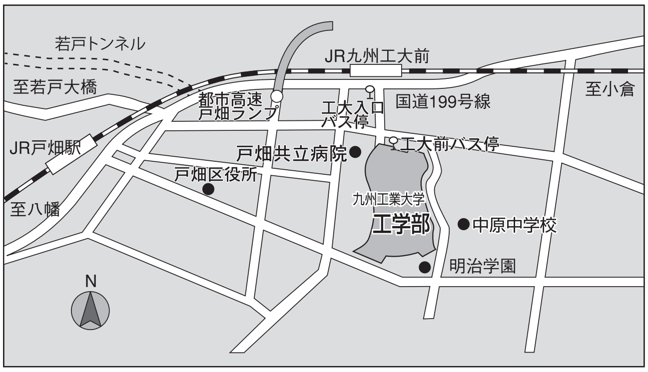
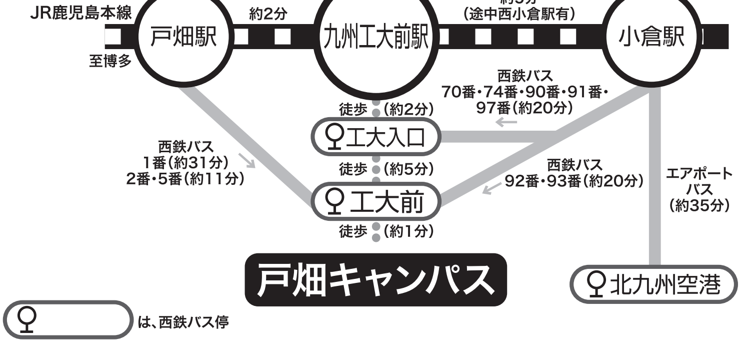


《戸畑キャンパスマップ（詳細）》　http://www.kyutech.ac.jp/information/map/tobata.html

◆九州工業大学の所在地



工学部（戸畑キャンパス）



●所在／福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号
TEL 093-884-3057 FAX 093-884-3090
●交通案内